

ロータリークラブ 会長 殿
// 幹事 殿
// 国際奉仕委員長 殿
// 米山奨学委員長 殿
// 保 存 用

財団法人ロータリー米山記念奨学会

1994(平成6)年度事業報告書

1. 1994年度事業報告書
2. 1994年度収支決算書、貸借対照表、財産目録
および剰余金処分
3. 1995年度事業計画
4. 1995年度収支予算
5. 1995年度評議員
6. 1995年度理事・監事および顧問
7. 参考資料
 - クラブ米山奨学金制度 (C Y)
 - 地区米山奨学金制度 (Dis Y)
 - 特別米山奨学金制度 (S Y-1)
 - 特別米山奨学金制度 (S Y-O B)
 - 米山カレンダー
 - 理事の役割
 - 地区米山奨学委員長の役割
 - 寄付金について
 - 表彰制度
 - 寄付に関する事項
 - 送金カレンダー
 - 地区活動費
 - 専門委員会規定
 - 1995年度専門委員
 - 1996学年度米山奨学生募集要項 (大学院・学部用)
 - 1996学年度地区米山奨学生募集要項

1995年 8 月

1994（平成6）年度 事業報告

（自1994年7月1日～至1995年6月30日）

1. 奨学生数

奨学金の種類	1994年7月～1995年3月	1995年4月～1995年6月
Y 奨学生 学 部 生	2 3 7	2 6 2
大 学 院 生	4 0 3 (内3名は10月からCY)	4 0 6
C Y 奨学生	3 7	4 2
Dis Y 奨学生 Dis Y - A	3	5
Dis Y - B	1 9 3 (内1名は10月からCY)	2 1 0
S Y 奨学生 S Y - 1	1 5	1 4
S Y - O B	9	1 0
計	8 9 7	9 4 9

2. 奨学金

学部生（Y U）	}	月額12万円
地区米山奨学生（Dis Y - A）		
特別米山奨学生（S Y - 1）		
大学院生（Y M D）	}	月額15万円
クラブ米山奨学生（C Y）		
地区米山奨学生（Dis Y - B）		
特別米山奨学生（S Y - O B）	}	月額22万円

3. Y 奨学金制度

Y U 奨学金とY M D 奨学金の2種類で、ロータリークラブの所在する国から来日し、日本の大学に在籍する者を対象とする奨学金。

(1) Y U 奨学金は、4月より大学

学部3・4年目

医・歯・獣医学部5・6年目の者を対象。

ただし、国籍による制限がある。

(2) YMD奨学金は、4月より大学院

修士課程1年目

博士課程2・3年目

医・歯・獣医学系博士課程3・4年目の者を対象。

(1)、(2)とも奨学期間は2カ年以内。

4. クラブ米山奨学金制度 (CY奨学金)

現在YMD奨学金およびDisY-B奨学金を受給中の者で、奨学期間終了後1年以内に博士号取得見込みの者を対象とする奨学金。

ただし奨学金の支給は、CY奨学期間を含み、通算3年を越えることはない。

5. 地区米山奨学金制度 (DisY奨学金)

(1) DisY-A奨学金

ロータリークラブの所在する国から来日し、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程等に在籍する者を対象とする奨学金。

毎年各地区一律1名で、地区の割当数内で採用。

(2) DisY-B奨学金

以前にロータリークラブが存在していた国から来日し、4月より大学院の次の課程・学年に在籍する者を対象とする奨学金。

修士課程1年目

博士課程2・3年目

医・歯・獣医学系博士課程3・4年目

割当数は、各地区の当該年度割当数の15%以内とし、小数点以下は切り上げ可。

なお、DisY-B継続者およびCYは、この15%の枠外。

各地区割当数の中で採用。

(1)、(2)とも奨学期間は2カ年以内。

6. 特別米山奨学金制度 (SY奨学金)

(1) SY-1奨学金

ロータリークラブのある発展途上国（以前にロータリークラブが存在していた発展途上国を含む）から来日する短期研修生を対象とする奨学金。

常務理事会および理事会において、受入団体と各団体への割当人数を定め、常務理事会においてその採用を決定。

奨学期間 1年以内

採用人数 15人以内

受入団体 アジア学院とPHD協会

(2) SY-OB奨学金

第3期実施期間：1993年度～1995年度

日本の大学において博士号取得済の元米山奨学生（帰国後5年以上経過し、50才

未満の者)で、日本国内における研修プログラム、指導者、受入団体および研究室等がすでに決まっており、短期間の研修後帰国し、母国の発展に寄与する者を対象とする奨学金。

奨学期間 2カ月以上6カ月以内

採用人数 10人以内

7. 選考事務の地区への委託

以下の事項を地区へ委託し、実施した。

- (1) 米山奨学会事務局は、受付けた申込書を地区別に仕分けし、それぞれの地区ガバナー事務所へ送付。
- (2) 各地区ガバナー事務所において申込書をコピーし、選考委員に配布。
- (3) 各地区で選考した合格予定者(補欠Y10名、DisY-B5名を含む)を地区担当理事から米山奨学会事務局へ通知。
- (4) 米山奨学会事務局は合格予定者の資格を確認し、もし不適格者があれば、補欠者を繰上げて合格予定者に加えて、常務理事会へ報告。
- (5) 常務理事会で合格者を決定。
- (6) 米山奨学会は、各地区ガバナー事務所に対し、選考事務委託に伴う諸経費(金額は常務理事会で決定)を支払う。

8. 専門委員会

財務・学務・広報・学友の4部門の専門委員会を設置し、各委員会は各々の担当事項につき、専門的に研究討議して業務遂行の方策を定め、常務理事会に提案した。

9. 在日米山奨学生学友会

学友会(関東)は、埼玉・東京・神奈川・千葉にある7地区合同で1985年11月に発足したが、1993年度より、東京の2地区(2580・2750)は従来通り合同で、他は地区ごと(2570・2770・2590・2780・2790)に活動。学友会(関西)は京阪神にある4地区(2640・2650・2660・2680)合同で1986年5月に発足。学友会(北関東)は栃木・茨城合同で1986年11月に発足したが、1994年度より2550と2820地区各々の地区にわかれて活動。学友会(西日本)は1988年7月に発足。各々年2回の会合をもち、徐々に親睦を深めている。

10. 「よねやまだより」

年2回「よねやまだより」を発行し、日本の全ロータリアン・指導教官・奨学生および在日(一部帰国)学友に配布して、当会事業への理解を深めた。

11. 寄付収入額

普通寄付金	477百万円	(前年度比	4.99%増)
特別寄付金	1,550百万円	(前年度比	7.49%増)
合計	2,027百万円	(前年度比	6.89%増)

12. 表彰に関する事項

(1) 1千万円～7千万円達成クラブ（普通寄付金および特別寄付金合計額）

7千万円達成クラブ 3クラブ（内本年度増1クラブ）

東京江北ロータリークラブ（1992年度表彰済）

京都ロータリークラブ（1993年度表彰済）

京都南ロータリークラブ

6千万円達成クラブ 3クラブ（内本年度増1クラブ）

京都西ロータリークラブ（1993年度表彰済）

奈良ロータリークラブ（1993年度表彰済）

岸和田ロータリークラブ

5千万円達成クラブ 13クラブ（内本年度増3クラブ）

4千万円達成クラブ 12クラブ（内本年度増7クラブ）

3千万円達成クラブ 48クラブ（内本年度増18クラブ）

2千万円達成クラブ 189クラブ（内本年度増48クラブ）

1千万円達成クラブ 506クラブ（内本年度増88クラブ）

(2) 米山功労者 延28,859名（内本年度増2,912名）

(3) 米山功労クラブ 延13,731件（内本年度増1,504件）

(4) 米山ファンドフェロー 2,399名

(5) 米山功労法人 延1,082件（内本年度増152件）

(6) 米山特別功労法人 延265件（内本年度増22件）

次の諸表を添付する。

(1) 地区別奨学生数一覧表	5頁	(6) 学校別一覧表	10～11頁
(2) 課程別一覧表	6頁	(7) 世話クラブおよび	
(3) 専攻分野別一覧表	7頁	配属奨学生数一覧表	12～30頁
(4) 国別一覧表	8頁	(8) 地区別米山奨学委員会一覧表	31～35頁
(5) 米山奨学生数の推移	9頁		

(1) 地区別奨学生数一覧表

(1995学年度)

地 区	Y 奨学生		DisY-A		DisY-B		小計	C Y 奨学生		S Y 奨学生		合 計
	新規	継続	新規	継続	新規	継続		Y	DisY-B	SY-1	SY0B	
2500	2	3					5					5
2510	9	6			3		18		1			19
2520	3				1	2	6					6
2810	15	9			5	1	30					30
2530	6	4			1	1	12					12
2800	3	4			1	1	9					9
2540	3	3			1	1	8					8
2830					1	1	2					2
2550	10	6			4	2	22		1	12		35
2820	16	15			7	6	44	2	2			48
2560	14	10			2	2	28	1				29
2570	18	6			1		25					25
2770	20	9			6	4	39	1				40
2580	23	20			1	1	45	4			2	51
2750	24	25			2	2	53	7			2	62
2590	16	15			5	3	39	1				40
2780	16	6			2	2	26	1				27
2790	11	11			3	4	29	2				31
2600	9	8	1		5	5	28					28
2760	12	12			5	4	33	3			2	38
2610	17	4			5	3	29					29
2620	8	7			3	4	22					22
2630	10	6	1		4	4	25					25
2650	22	16	1		9	8	56	2	1		2	61
2640	10	13			5	4	32		1			33
2660	22	11			8	5	46	6				52
2680	12	9			4	3	28			2		30
2670	5	8			4	4	21	1				22
2690	12	3			4	4	23				1	24
2710	14	8			4	2	28	1	1			30
2700	15	6	1		3	4	29	3			1	33
2740	5	9			2	3	19					19
2720	5	6			3	3	17					17
2730	1	2	1		1	2	7					7
合 計	388	280	5	0	115	95	883	35	7	14	10	949

・ 辞退者1名(2580地区 CY奨学生)のため、1995学年度の奨学生数は949人。

(2) 課 程 別 一 覧 表

(1995学年度)

地 区	YMD		Y U	C Y	DisY-A	DisY-B		SY-1	SY-OB	計
	大学院 博士 課程	大学院 修士 課程	学 部 課 程	クラブ 米 山 奨学生	地 区 米 山 奨学 A	地 区 奨 学 博 士	米 山 生 B 修 士	特 別 米 山 奨学生 (1)	特 別 米 山 奨学生 (OB部門)	
2500		3	2							5
2510	1 1	3	1	1		3				1 9
2520		2	1			1	2			6
2810	1 6	6	2			6				3 0
2530			1 0				2			1 2
2800		1	6			2				9
2540		3	3			1	1			8
2830						1	1			2
2550		1	1 5	1		3	3	1 2		3 5
2820	1 1	1 3	7	4		7	6			4 8
2560	3	6	1 5	1		4				2 9
2570	5	6	1 3			1				2 5
2770	1 2	4	1 3	1		4	6			4 0
2580	2 1	1 0	1 2	4		1	1		2	5 1
2750	2 7	1 2	1 0	7		3	1		2	6 2
2590	1 5	1 2	4	1		5	3			4 0
2780	7	6	9	1		4				2 7
2790	6	5	1 1	2		3	4			3 1
2600	3		1 4		1	6	4			2 8
2760	1 5	6	3	3		7	2		2	3 8
2610	4	3	1 4			5	3			2 9
2620	1	4	1 0			4	3			2 2
2630	4	4	8		1	5	3			2 5
2650	1 4	7	1 7	3	1	1 2	5		2	6 1
2640	1 1	4	8	1		2	7			3 3
2660	2 5	7	1	6		9	4			5 2
2680	8	7	6			2	5	2		3 0
2670	5	2	6	1		4	4			2 2
2690	6	2	7			6	2		1	2 4
2710	6	6	1 0	2		2	4			3 0
2700	1 0	5	6	3	1	4	3		1	3 3
2740	2	3	9			1	4			1 9
2720		3	8				6			1 7
2730	1	1	1		1	1	2			7
計	2 4 9	1 5 7	2 6 2	4 2	5	1 1 9	9 1	1 4	1 0	9 4 9
	4 0 6					2 1 0				

(3) 専攻分野別一覧表

(1995学年度)

		YMD		Y	U	C	Y	DisY-A	DisY-B		SY-1	SY-0B	小 計	合 計
		大学院 博 士 課 程	大学院 修 士 課 程	学 部 課 程	クラブ 米 山 奨学生	地 区 米 山 奨学生 A	地区米山奨学生 B		特別 米山 奨学生 (1)	特別米 山奨学 生(0B 部門)				
							博 士	修 士						
文 科 系	人 文	48	22	46	8	1		11	12				148	423
	教 育	5	25	36	3			2	20				91	
	福 祉	2		2									4	
	法 学	6	4	4				2	2				18	
	経 済	16	11	100	1	1		4	15				148	
	芸 術	1	5	6				1				1	14	
理 科 系	理 学	22	7	2	3			12	11			2	59	429
	工 学	94	61	51	13	1		38	23			3	284	
	農 学	26	12	7	12			10	5	14			86	
医 学 系	医 学	12	2	5	2			37				3	61	83
	歯 学	8											8	
	薬 学	2		1				2	1				6	
	保健学	3	2			1			2				8	
家 政 学		4	4	1									9	9
情 報 学			2	1		1						1	5	5
計		249	157	262	42	5		119	91	14	10	949		
		406						210						

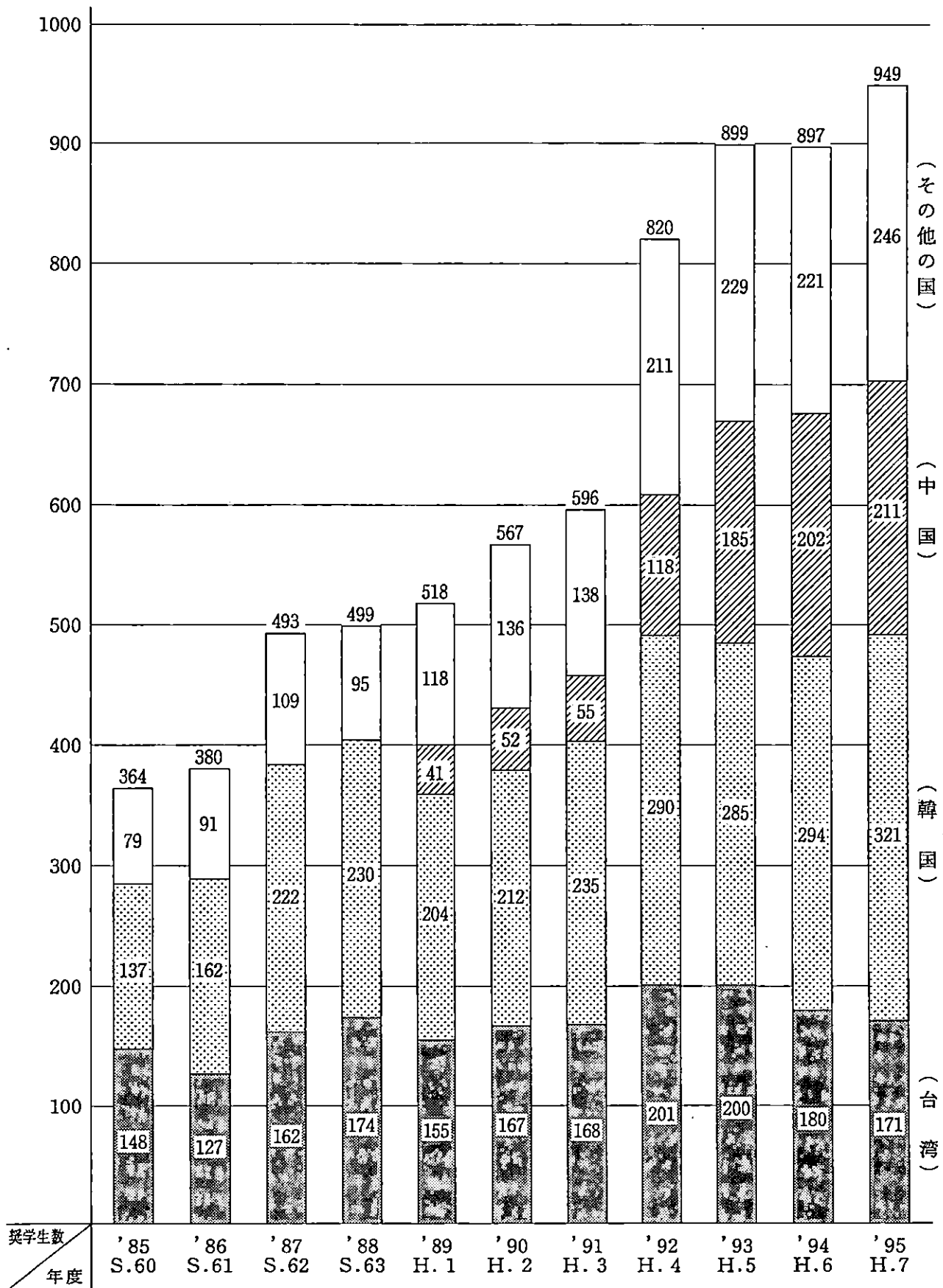
(4) 国 別 一 覧 表

(1995 学年度)

国・地域名		1995	過去累計		国・地域名		1995	過去累計		
		学年度	実数	通算			学年度	実数	通算	
ア	バングラデシュ	22	88	141	アフリカ	タンザニア		2	2	
	ミャンマー (ビルマ)	4	13	21		チュニジア		1	1	
	カンボジア	1	1	1		ウガンダ	2	3	3	
	香港	13	100	181		ザイール	1	2	3	
	インド	3	61	97		ザンビア		3	3	
	インドネシア	30	111	181		計	11	65	97	
	ジ	大韓民国	321	1,773	3,347	オセアニア	オーストラリア	2	8	17
		ラオス		2	4		フィジー		1	1
		マレーシア	97	473	784		ニューゼーランド	1	6	12
		ネパール	7	31	46		バブアニューギニア		5	5
パキスタン		1	12	21	ソロモン諸島			1	1	
中華人民共和国		211	551	864	計		3	21	36	
ア		フィリピン	8	46	73	北・中・南米	アルゼンチン		10	17
		ポルトガル (マカオ)	1	22	37		ボリビア		2	3
		シンガポール	1	17	28		ブラジル		47	78
		スリランカ	11	72	136		カナダ	1	4	7
	台湾	171	2,176	3,958	チリ		1	3	5	
	タイ	11	98	158	コロンビア			1	1	
	チベット		1	3	エルサルバドル			2	2	
	ベトナム	1	196	376	グアテマラ			1	1	
	計	914	5,844	1,0457	メキシコ		4	13	15	
	中近東	アフガニスタン		12	19		ペルー	1	13	23
イスラエル		1	7	10	アメリカ合衆国		6	43	71	
イラク			1	1	ベネズエラ		1	5	8	
イラン		1	12	29	計		14	144	231	
トルコ		1	4	6	オーストリア			3	4	
計		3	36	65	ベルギー		2	2		
アフリカ		カメルーン		1	1	ヨーロッパ	ブルガリア		1	2
	コンゴ	1	1	1	イギリス			5	7	
	コートジボアール		1	2	フランス		1	7	11	
	ジブチ共和国	1	15	28	ドイツ		1	11	17	
	エチオピア		5	8	イタリア		1	9	13	
	ガーナ	1	7	11	オランダ			1	2	
	ギニアビサウ	1	1	1	ポーランド			1	2	
	ケニア	2	11	16	ロシア共和国		1	1	2	
	マダガスカル	1	2	3	スペイン			2	3	
	マリ		1	2	スイス			2	3	
	ナイジェリア		5	7	ユーゴスラビア			1	2	
	セネガル		1	2	計		4	46	70	
	シエラレオネ	1	1	1	総数	949	6,156	10,956		
	南アフリカ共和国		1	1		42カ国	75カ国			
	スーダン		1	1						

(5) 米山奨学生数の推移

(1995学年度)



(6) 学 校 別 一 覧 表

(1995学年度)

大 学 名	人 数	大 学 名	人 数	大 学 名	人 数
旭川大学	1	日本工業大学	3	神奈川大学	1
旭川医科大学	1	埼玉大学	13	関東学院大学	3
北海道東海大学	1	琉球大学	6	鶴見大学	1
北見工業大学	2	亜細亜大学	2	横浜国立大学	11
北海道大学	17	大東文化大学	1	横浜市立大学	1
酪農学園大学	1	上智大学	3	横浜商科大学	1
岩手大学	7	明治大学	2	千葉大学	17
宮城教育大学	2	武蔵野美術大学	1	千葉工業大学	2
東北大学	26	日本大学	8	中央学院大学	1
東北福祉大学	1	日本女子大学	1	城西国際大学	1
東北学院大学	1	お茶の水女子大学	5	麗澤大学	3
福島大学	9	立教大学	1	信州大学	25
いわき明星学園	1	専修大学	2	信州大学医療技術短大	1
山形大学	8	大正大学	2	愛知学院大学	2
秋田大学	8	拓殖大学	5	愛知医科大学	1
弘前大学	1	東京大学	55	愛知淑徳大学	1
アジア学院	12	東京外国語大学	1	名古屋大学	24
足利工業大学	2	東京芸術大学	1	名古屋工業大学	1
白鷗大学	4	東京理科大学	2	総合研究大学院大学	1
作新学院大学	1	早稲田大学	15	豊橋技術科学大学	7
宇都宮大学	14	青山学院大学	1	富山大学	13
茨城大学	7	文化女子大学	1	富山医科薬科大学	2
図書館情報大学	1	中央大学	4	北陸先端科学技術 大学院大学	1
筑波大学	39	電気通信大学	3	金沢大学	13
上越教育大学	5	一橋大学	5	山梨大学	5
敬和学園大学	1	慶応義塾大学	13	山梨学院大学	1
長岡技術科学大学	7	國學院大学	1	山梨医科大学	1
新潟大学	4	武蔵工業大学	1	浜松医科大学	2
群馬大学	10	立正大学	2	静岡大学	8
高崎経済大学	2	東海大学	14	静岡県立大学	2
城西大学	2	東京学芸大学	4	朝日大学	1
女子栄養大学	1	東京経済大学	2	岐阜大学	15
明海大学	1	東京工業大学	18	中日本自動車短期大学	1
埼玉工業大学	1	東京農業大学	1	松坂大学	1
駿河台大学	2	東京農工大学	9	三重大大学	10
東京国際大学	10	東京水産大学	1	四日市大学	1
文教大学	4	東京都立大学	8	福井大学	9
獨協大学	2	東京都立科学技術大学	1		

大 学 名	人 数	大 学 名	人 数	大 学 名	人 数
成安造形大学	1	大阪市立大学	12	福岡大学	1
滋賀大学	4	姫路獨協大学	1	福岡教育大学	2
佛教大学	1	兵庫教育大学	1	福岡YMCA国際ホテル・	
京都大学	28	関西学院大学	1	福祉専門学校	1
京都府立大学	1	神戸大学	17	北九州大学	2
京都経済短期大学	1	神戸芸術工科大学	2	久留米大学	2
京都工芸繊維大学	1	神戸市外国語大学	1	九州大学	21
京都教育大学	2	神戸商科大学	3	九州産業大学	1
立命館大学	4	神戸YMCA学院専門学校	2	九州歯科大学	2
龍谷大学	1	香川大学	2	西南学院大学	1
奈良女子大学	4	香川医科大学	2	長崎大学	8
奈良教育大学	2	鳴門教育大学	1	長崎県立大学	2
奈良先端科学技術		徳島大学	4	長崎総合科学大学	2
大学院大学	1	愛媛大学	6	佐賀大学	6
天理大学	6	高知大学	5	佐賀医科大学	1
和歌山大学	5	高知医科大学	1	熊本大学	7
阪南大学	1	岡山大学	16	熊本学園大学	2
桃山学院大学	1	岡山商科大学	2	九州東海大学	2
大阪府立大学	12	作陽音楽大学	1	大分大学	6
大阪女子大学	3	鳥取大学	5	鹿児島大学	3
大阪芸術大学	2	広島大学	18	宮崎大学	2
関西大学	1	広島女子大学	4	宮崎産業経営大学	1
近畿大学	2	広島修道大学	1	宮崎ユニバーサルカレッジ	1
大阪大学	42	梅光女学院大学	1	その他	
大阪電気通信大学	1	水産大学校	1	(国立公衆衛生院)	1
大阪教育大学	1	山口大学	6		
				合 計	187 校 949 名

- * 岩手大学の2名は、山形大学に1名、弘前大学に1名配置
- * 東京大学の1名は、北海道大学に配置
- * 東京農工大学の1名は、宇都宮大学に配置
- * 総合研究大学院大学の1名は、核融合科学研究所に配置
- * 岐阜大学の4名は、岩手大学に1名、信州大学に2名、静岡大学に1名配置
- * 愛媛大学の1名は、高知大学に配置
- * 鳥取大学の2名は、島根大学に配置
- * 鹿児島大学の1名は、宮崎大学に配置

(7) 世話クラブおよび配属奨学生数一覧表

地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計		地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2500	旭 川 東	1	1	2	2520	盛 岡	3	10	15
	旭 川 北		1	2		盛 岡 北	1	7	11
	旭 川 南	1	2	2		盛 岡 南	1	3	5
	旭 川 西	1	1	1		盛 岡 西	1	6	10
	北 見	1	3	5		計	6	26	41
	北 見 東	1	1	2	2810	古 川	1	3	6
	帯 広 東		4	8		古 川 東	1	5	6
	帯 広 東		1	2		石 巻 東		2	5
	帯 広 北		1	2		石 巻 東	1	1	1
	帯 広 南		1	2		石 巻 南		1	2
	帯 広 西		2	4		石 巻 西	1	1	1
	計	5	18	32		岩 出 山	1	1	2
2510	江 別	1	5	10		岩 沼	1	2	3
	函 館		1	1		気 仙 沼	1	1	2
	函 館 五稜郭		2	2		松 島	1	7	8
	函 館 東	1	1	2		中 新 田	1	1	2
	函 館 北		1	2		鳴 子		1	1
	室 蘭		1	2		名 取	1	2	3
	小 樽		2	2		大 河 原	1	1	1
	札幌 幌	4	23	50		利 府	1	3	4
	札幌あけぼの		2	3		佐 沼	1	2	3
	札幌 幌 東	1	5	9		仙 台	2	43	97
	札幌 幌 北	2	12	24		仙 台 青 葉	1	3	3
	札幌 幌 南	1	5	8		仙 台 平 成	1	3	5
	札幌 真駒内	1	6	10		仙 台 東	1	14	33
	札幌 幌 南	2	11	19		仙 台 泉	1	11	19
	札幌モーニング	2	4	5		仙 台 北	1	24	50
	札幌 幌 西	1	8	16		仙 台 南	1	18	36
	札幌 幌 西 北	1	5	10		仙 台 西	1	22	34
	札幌 幌 手 稲	2	6	14		七 ヶ 浜	1	1	1
	新 札幌 幌		3	6		塩 釜	1	10	18
	計	19	103	195		塩 釜 東	1	9	18

地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計		地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人数	総「人・年」				人数	総「人・年」
2810	白石	1	4	6	2540	秋田	3	26	47
	白石	1	1	1		秋田中央	1	1	1
	多賀	1	6	11		秋田東	1	10	17
	大和		1	1		秋田北	1	6	11
	築館	1	10	17		秋田南	1	5	9
	涌谷		2	4		秋田港	1	7	15
	亘理	1	1	1		計	8	55	100
	計	30	217	405	2830	青森		1	1
2530	福島	1	7	14		五所川原	1	1	2
	福島中央	1	2	3		八戸		1	2
	福島東	1	5	9		弘前		6	12
	福島北	1	3	9		弘前東	1	2	3
	福島南	1	2	2		計	2	11	20
	福島西	2	6	9	2550	足利	2	4	7
	飯坂		1	2		足利東	1	3	4
	いわき内郷	1	2	3		足利西	1	2	2
	川俣		1	2		馬頭小川		1	1
	郡山		3	5		今市		1	2
	郡山安積		1	2		今市きぬ	1	1	2
	郡山東	1	3	3		岩舟	1	1	2
	郡山南	1	1	1		鹿沼		3	5
	二本松	1	1	1		鹿沼中央		1	1
	白河		1	1		鹿沼東		1	1
	須賀川南	1	1	1		黒羽		12	12
	計	12	40	67		黒磯		12	12
2800	鶴岡	1	5	8		葛生		1	2
	山形	1	1	1		益子		1	2
	山形東	1	3	5		壬生		2	4
	山形南	1	1	2		真岡	1	4	7
	山形西	1	3	5		真岡西		1	2
	米沢	2	19	30		真那		6	6
	米沢中央	1	2	3		日光	1	1	1
	米沢西	1	3	6		西那須野	2	22	24
	計	9	37	60		大田原	1	16	16

地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計		地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2550	大田原中央		5	5	2820	勝田	1	10	13
	小山	1	10	16		北茨城		1	2
	小山東	1	1	2		古河	2	16	28
	小山北	1	2	3		古河東	1	5	8
	小南山		4	5		真壁	1	8	15
	佐野		7	12		水戸	2	12	21
	佐野東		8	12		水戸東	1	3	3
	塩原西那須		5	5		水戸南	1	7	13
	高根沢		1	2		水戸西	2	12	19
	栃木		2	3		水戸さくら	1	2	2
	栃木西	1	1	1		水海道	1	10	18
	氏家	1	4	4		守谷	1	1	2
	宇都宮	1	5	11		那珂湊	1	5	8
	宇都宮東	1	5	6		大洗	1	5	7
	宇都宮北	3	5	6		竜ヶ崎	1	12	18
	宇都宮南	4	6	8		境	1	4	7
	宇都宮90		4	5		関城	1	1	2
	宇都宮西	4	10	15		下館	1	9	16
	宇都宮陽東	5	5	6		しもだて紫水	1	2	3
2820	矢板	1	9	10		下妻		9	16
	計	35	195	252		高萩	1	3	5
	日立	1	8	13		玉造		1	2
	日立中央	1	1	1		友部	1	3	4
	日立北	2	3	4		取手	1	7	16
	日立港	1	5	9		東海	1	2	4
	日立南	1	11	16		土浦	3	22	38
	常陸太田	1	2	2		土浦中央	1	3	4
	鉾田	1	7	12		土浦南	2	15	24
	石岡	1	9	15		つくば学園	1	8	13
	石岡87	1	5	7		つくばシティ	1	1	2
	潮来		1	2		牛久	2	7	13
	岩井	1	3	6		結城	1	8	17
	笠間	1	9	16		計	48	282	471
	鹿島臨海		4	5	2560	新井	1	2	3

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2560	妙 高 高 原	1	1	1	2570	朝 霞	1	7	14
	長 岡	3	9	15		朝霞キャロット	1	2	2
	長 岡 東	2	6	11		秩 父		2	3
	長 岡 西	2	5	10		富 士 見		1	1
	直 江 津		1	2		深 谷		1	1
	新 潟	1	21	36		深 谷 東		2	2
	新 潟 中 央	1	1	1		吹 上		1	2
	新 潟 東		1	2		行 田		2	3
	新 潟 北	1	1	2		行 田 さ く ら		2	2
	新 潟 南	1	1	2		飯 能	1	5	9
	新 潟 西	1	1	2		日 高	1	2	2
	小 千 谷		2	4		東 松 山		1	3
	高 田	2	4	7		本 庄	2	4	7
	高 田 東	1	2	2		入 間	1	3	5
	雪 国 魚 沼		1	2		上 福 岡		1	3
	藤 岡 北	1	1	1		川 越	1	13	20
	伊 勢 崎		2	4		川 越 中 央	2	5	6
	伊 勢 崎 中 央		2	4		川 越 東		3	4
	桐 生	3	16	29		川 越 南	1	7	10
	桐 生 中 央	1	3	6		川 越 西	1	6	9
	桐 生 南		12	21		加 須		1	2
	桐 生 西	1	10	18		熊 谷	1	5	11
	前 橋	1	4	7		熊 谷 東		1	2
	前 橋 東	1	1	1		新 座	1	6	10
	前 橋 北	1	1	1		新 座 こ ぶ し	1	1	1
	前 橋 西	1	3	4		小 川		1	1
	沼 田		1	4		越 生 毛 呂		5	8
	太 田		1	2		岡 部	1	3	4
	渋 川		1	2		坂 戸	1	4	7
	高 崎	2	5	8		坂 戸 さ つ き		1	2
	高 崎 東		4	8		狭 山		1	1
	高 崎 北		2	4		志 木	1	5	8
	高 崎 南		6	12		新 狭 山	2	5	7
	計	29	134	238		新 所 沢	1	1	1

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2570	所 沢	2	4	6	2770	桶 川		6	11
	所 沢 中 央		1	1		大 宮	1	18	29
	鶴 ケ 島		2	3		大 宮 中 央	1	4	7
	和 光	2	9	15		大 宮 東		2	2
	寄 居		1	2		大 宮 北	2	3	3
	計	25	127	200		大 宮 南	1	12	19
2770	上 尾	1	2	2		大 宮 南 西		2	3
	上 尾 東		1	2		大 宮 南 東	1	2	3
	上 尾 北	1	1	1		大 宮 西		5	7
	上 尾 西		1	2		白 岡		2	3
	蓮 田	1	2	3		庄 和		1	2
	鳩 ケ 谷	1	5	7		草 加	1	3	5
	鳩 ケ 谷 武 南	1	1	2		草加イブニング	1	1	1
	岩 槻		4	6		草 加 南	1	2	3
	岩 槻 東		1	2		杉 戸		3	5
	春 日 部	1	4	9		戸 田	1	9	17
	春 日 部 西		1	2		戸 田 西		1	3
	川 口 東		3	5		浦 和	1	6	13
	川 口 北 東		2	4		浦 和 東	1	6	12
	川 口 北 東		1	2		浦 和 北 東		2	2
	川 口 北 北	2	5	7		浦 和 北 北	2	11	18
	川 口 南	1	1	2		浦 和 南		1	2
	川 口 西	1	4	7		浦 和 西		2	2
	越 谷	3	9	15		族		5	8
	越 谷 東	1	3	5		八 潮	1	3	3
	越 谷 北	2	6	10		八潮イブニング	1	2	3
	越 谷 南		4	6		与 野		2	4
	越 谷 中	1	2	3		与 野 西	1	1	1
	越 谷 西	1	2	2		吉 川	1	2	3
	鴻 巣		1	2		計	40	192	311
	久 喜	1	3	4	2580	宜 野 湾	1	8	11
	三 郷	1	1	1		コ ザ		2	4
	三 郷 中 央	1	1	2		名 護		1	1
	宮 代	1	2	2		那 覇	1	6	9

地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計		地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2580	那 覇 東	1	10	13	2580	東 京 江 北	1	21	43
	那 覇 南	1	3	6		東 京 麴 町	1	14	23
	那 覇 西	1	8	14		東 京 江 東	1	19	40
	浦 添	1	5	8		東 京 向 島	1	14	24
	東 京	1	101	208		東京武蔵村山		6	14
	東 京 足 立	1	9	16		東京武蔵野	1	13	24
	東 京 秋 川		2	3		東京武蔵野中央	1	8	10
	東 京 荒 川		19	38		東 京 中 野	1	9	17
	東 京 浅 草	1	15	25		東京練馬西	1	8	12
	東京浅草中央	1	5	9		東 京 王 子	1	21	35
	東京あすか	1	6	10		東 京 青 梅		4	7
	東 京 ベ イ	1	4	6		東 京 臨 海	1	1	1
	東京江戸川	2	22	39		東 京 西 北	1	24	41
	東 京 福 生		3	5		東 京 新 宿	1	13	23
	東 京 東	1	28	61		東京新都心	3	6	10
	東京東江戸川	1	13	28		東 京 田 無	1	11	18
	東京東久留米	1	6	9		東京田無けやき	1	3	4
	東京東村山		4	6		東 京 豊 島 東	1	9	13
	東京東大和	1	2	4		東 京 上 野	1	9	16
	東 京 本 郷	1	3	4		東 京 四 谷	1	8	15
	東 京 保 谷	1	7	12		計	51	738	1,363
	東 京 池 袋	1	33	70	2750	東 京 昭 島		1	2
	東京池袋西	1	12	22		東京昭島中央		2	4
	東 京 板 橋	1	16	31		東 京 調 布	1	10	18
	東 京 城 北	1	22	37		東京調布むらさき	1	1	2
	東 京 城 東	1	12	25		東 京 中 央		4	6
	東 京 神 田	1	32	61		東京田園調布	1	18	31
	東 京 葛 飾	1	15	27		東京田園調布緑		1	2
	東京葛飾東	1	17	28		東 京 荏 原	1	14	26
	東京紀尾井町	1	1	1		東京荏原かめりあ	1	1	1
	東 京 北	1	37	70		東 京 府 中	2	10	19
	東 京 清 瀬		2	3		東 京 銀 座		26	58
	東 京 小 平		8	12		東京銀座新		1	3
	東京小石川	1	18	37		東京八王子		9	18

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2750	東京八王子東	1	5	8	2750	東京日本橋東	1	12	19
	東京八王子南	1	3	5		東京日本橋西	1	2	3
	東京八王子西	2	5	10		東 京 西	1	29	67
	東 京 羽 田		7	10		東 京 大 井	1	9	16
	東 京 原 宿	2	6	7		東 京 大 森	1	10	19
	東 京 日 野	1	8	11		東 京 大 崎	1	5	7
	東 京 稲 城		3	9		東 京 成 城	1	10	15
	東京井の頭	1	4	7		東京成城新	2	4	8
	東京自由が丘	1	2	2		東 京 西 南		4	9
	東 京 城 南	1	4	7		東京世田谷		21	39
	東 京 城 西	1	18	36		東京世田谷南	2	12	21
	東 京 蒲 田	1	5	9		東 京 芝		12	20
	東 京 京 浜	1	2	3		東 京 品 川	1	25	51
	東京小金井	2	12	25		東 京 新 橋		2	5
	東京小金井さくら	1	1	2		東 京 新 南	1	3	6
	東京国分寺	2	14	22		東京シティ日本橋	1	1	3
	東 京 駒 場	1	4	4		東 京 杉 並	2	5	7
	東 京 狛 江	1	5	7		東 京 立 川	1	6	15
	東京狛江多摩川	1	2	4		東京立川こぶし	1	2	4
	東 京 港 南		12	19		東 京 多 摩	1	7	12
	東 京 国 立	2	21	33		東京多摩グリーン	1	1	1
	東京国立白うめ	1	1	1		東 京 飛 火 野		3	6
	東 京 町 田		6	13		東 京 築 地		11	25
	東京町田東		1	2		東京山の手	2	5	6
	東京町田中	1	2	3		計	62	552	1,043
	東京町田サルビア		2	3	2590	神 奈 川	1	9	15
	東京マリーナ		1	2		神 奈 川 東	1	4	7
	東 京 目 黒	2	27	51		川 崎	1	7	14
	東 京 南	1	28	70		川 崎 中 央		2	3
	東京みなと		1	1		川 崎 大 師		5	7
	東 京 三 鷹	2	14	26		川 崎 日 吉		2	5
	東京武蔵府中	1	5	6		川 崎 稲 生	1	2	4
	東京武蔵国分寺	1	1	3		川 崎 北	1	8	14
	東 京 日 本 橋	1	21	48		川 崎 南	1	9	14

地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計		地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2590	川崎宮前	1	4	5	2590	横浜戸塚	1	5	9
	川崎中	1	5	9		横浜戸塚東	1	1	2
	川崎中原	2	3	8		横浜戸塚西		2	2
	川崎西		10	16		横浜鶴見北	2	5	8
	川崎鷺沼		5	8		横浜鶴見西	1	7	12
	川崎幸	1	6	9		計	40	280	476
	川崎高津		3	7	2780	厚木	1	3	5
	川崎多摩	1	4	8		厚木中		2	4
	川崎百合丘	1	3	4		綾瀬		2	3
	新横浜	1	2	3		茅ヶ崎		7	17
	横浜	1	13	26		茅ヶ崎湘南		4	6
	横浜旭	1	5	10		藤沢		6	10
	横浜あざみ	1	2	3		藤沢東	1	2	2
	横浜田園	3	7	12		藤沢北西	1	2	3
	横浜東	2	12	17		藤沢北		7	15
	横浜保土ヶ谷	1	8	15		藤沢南	1	1	1
	横浜本郷	1	4	7		藤沢西	1	5	8
	横浜磯子		8	14		秦野	1	11	19
	横浜鶴峰		3	5		秦野名水	1	2	3
	横浜金沢	1	8	13		秦野中	1	6	10
	横浜金沢東	1	3	3		平塚	1	10	16
	横浜北	1	5	8		平塚北	1	8	13
	横浜港北	1	7	14		平塚南	1	3	5
	横浜港南		4	8		平塚西	1	3	5
	横浜港南台		2	3		平塚湘南	1	1	1
	横浜緑		12	19		伊勢原		7	10
	横浜南	1	24	41		伊勢原中央	1	4	7
	横浜MM21		1	2		鎌倉	1	6	11
	横浜中	1	7	10		鎌倉中央	1	3	3
	横浜南中央	1	1	1		鎌倉北	1	2	4
	横浜南陵	1	11	18		鎌倉西	1	2	2
	横浜西		9	16		鎌倉大船		3	5
	横浜瀬谷	1	7	11		三浦		1	1
	横浜たま	2	4	7		二宮		4	8

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2780	小 田 原	1	8	13	2790	船 橋 北		2	4
	小 田 原 城 北		2	4		船 橋 南		3	4
	小 田 原 北		4	6		船 橋 西		7	13
	小 田 原 中		4	6		富 津	1	3	6
	大 磯		1	1		富 津 中 央	1	2	4
	相 模 原	1	4	7		市 原	1	4	5
	相 模 原 北	1	2	2		市 原 中 央		1	2
	相 模 原 南	1	2	5		市 川		6	11
	相 模 原 中		5	12		市 川 東		4	6
	相 模 原 西		1	2		市 川 南	2	3	5
	寒 川	1	3	5		市川シビック	1	1	2
	大 和	1	8	14		印 西	1	2	3
	大 和 田 園	1	2	2		柏 南	2	4	7
	大 和 中	1	4	6		柏 西		3	3
	横 須 賀		7	15		君 津		1	2
	横 須 賀 北	1	9	14		木 更 津		1	2
	横 須 賀 南		1	3		木 更 津 東		1	2
	横 須 賀 西		1	2		鋸 南		2	4
2790	座 間 子		1	2		松 戸	1	8	13
	逗 子		1	2		松 戸 中 央		4	9
	計	27	187	320		松 戸 東	1	7	8
	我 孫 子		6	10		松 戸 西		2	4
	旭	1	1	3		茂 原		2	3
	千 葉 中 央	1	14	19		茂 原 東	2	3	6
	千 葉 東	2	6	11		流 山		1	2
	千 葉 幕 張		1	2		習 志 野		3	6
	千 葉 幕 張		2	3		習 志 野 中 央		1	1
	千 葉 南	1	13	23		成 田	1	3	6
	千 葉 港		3	5		成 田	1	1	1
	千 葉 西	1	12	24		コスモポリタン		2	2
	銚 子	1	2	3		野 田		8	11
	銚 子 東	1	1	2		野 田 東	2	1	2
	船 橋		2	2		小 見 川		1	1
	船 橋 東		3	4		大 佐 倉		3	4

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2790	新 千 葉	1	13	24	2600	上 田 東	1	3	5
	沼 南		2	3		上 田 西	1	2	2
	袖 ケ 浦	1	1	1		計	28	104	161
	多 古		3	4	2760	あ ま		7	9
	館 山	1	10	17		安 城		1	1
	東 金	1	2	3		知 立	1	1	1
	浦 安	1	2	2		蒲 郡		1	2
	八 千 代		5	8		半 田		3	6
	八 千 代 中 央		2	4		半 田 南		1	2
	横 芝		2	5		碧 南	1	1	1
	四 街 道	1	2	3		東 知 多		2	3
	八 日 市 場		1	2		一 宮	1	2	3
	計	31	211	351		一 宮 中 央		1	2
2600	あ づ み 野	2	6	10		一 宮 北		1	2
	伊 那	2	7	9		稲 沢		1	2
	伊 那 中 央	1	2	4		犬 山	1	2	4
	駒 ケ 根		1	2		岩 倉		1	3
	松 本	3	12	19		刈 谷	1	2	3
	松 本 東	3	9	15		春 日 井	1	3	5
	松 本 空 港	2	5	8		小 牧	1	3	5
	松 本 南	3	11	15		江 南	1	2	4
	松 本 西 南	2	8	12		名 古 屋		18	34
	箕 輪	1	5	9		名 古 屋 千 種		5	8
	長 野	1	6	9		名 古 屋 東		13	23
	長 野 東	1	7	10		名 古 屋 北	2	13	30
	長 野 北 東		1	1		名 古 屋 空 港		4	8
	長 野 北 西	1	3	5		名 古 屋 名 駅	1	2	3
	長 野 西 谷		1	1		名 古 屋 名 北		5	9
	岡 谷		1	2		名 古 屋 名 南	1	2	4
	岡 谷 エ コ		1	2		名 古 屋 名 東	1	6	13
	塩 尻	2	7	11		名 古 屋 南		12	16
	諏 訪	1	3	5		名 古 屋 港	1	8	18
	諏 訪 湖	1	2	3		名 古 屋 瑞 穂		4	7
	辰 野		1	2		名 古 屋 守 山	1	9	13

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2760	名古屋中		11	17	2610	越中八尾	1	3	4
	名古屋西	1	10	18		射水	1	4	7
	名古屋大須	1	4	7		上市		1	2
	名古屋栄	1	2	3		滑川	1	3	4
	名古屋昭和	1	1	2		高岡	1	2	3
	名古屋東南	1	8	16		高岡北	1	2	3
	名古屋和合	1	10	19		高岡万葉		1	2
	西春日井	1	5	6		高岡西	1	3	5
	西尾	1	1	2		立山		1	2
	西尾KIRARA	1	1	2		富山	3	12	21
	岡崎		2	4		富山南	2	7	10
	岡崎東		1	3		富山中	2	7	11
	岡崎城南	1	1	2		富山西	2	9	15
	岡崎南		2	3		宇奈月		1	2
	尾張旭	1	4	6		加賀中央	1	1	1
	尾張中央	1	1	3		河北		1	2
	瀬戸	1	3	6		金沢	3	13	22
	瀬戸北		2	5		金沢東	2	6	9
	田原		1	3		金沢北		4	7
	田原バンフィック	1	2	3		金沢香林坊	1	3	5
	高浜	1	1	2		金沢南	2	5	7
	常滑		2	3		金沢みなと	1	1	2
	豊橋	2	7	10		金沢西	2	9	16
	豊橋ゴールドン	1	2	4		能美	1	2	3
	豊橋北		3	5		富来	1	1	1
	豊橋南	1	4	8		山中		1	2
	豊川	1	1	2		計	29	103	168
	豊川宝飯	1	1	2	2620	市川大門		1	1
	豊田		2	4		甲府		4	8
	豊田東		1	2		甲府東北	1	2	4
	豊田西	1	3	5		甲府城北	1	3	4
	豊山城北		2	4		甲府北	2	14	21
	津島	1	2	3		甲府南	1	3	5
	計	38	239	428		甲府西	1	2	2

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2620	甲 府 シ テ ィ		2	3	2630	岐 阜 長 良 川	1	8	15
	峡 中	1	1	1		岐 阜 中	1	2	4
	浜 北		1	1		岐 阜 西	1	8	16
	浜 松	2	13	21		岐 阜 東 南		2	4
	浜 松 東	1	4	6		羽 島		1	2
	浜 松 北	1	7	10		各 務 原		5	10
	浜 松 南	1	6	11		可 児		1	1
	浜 松 中		1	2		美 濃 加 茂	1	9	9
	浜 松 西		2	4		本 巢	1	2	3
	三 島	1	8	17		大 垣	1	1	1
	三 島 南		1	1		大 垣 中		1	1
	三 島 西		2	2		大垣センチュリー	1	1	1
	長 泉	1	1	2		多 治 見		1	2
	沼 津		1	2		松 阪		1	2
	清 水		3	4		松 阪 東	2	4	6
	清 水 中 央	1	2	3		松 阪 山 桜	1	1	1
	清 水 北	1	4	6		鈴 鹿		1	2
	清 水 西	1	3	5		鈴 鹿 西	1	2	3
	静 岡		9	15		津	2	11	16
	静 岡 中 央	1	3	5		津 北	3	6	9
	静 岡 東	1	6	8		津 南	1	2	4
2630	静 岡 北		2	3		四 日 市	1	2	4
	静 岡 南	1	3	6		四 日 市 北	1	2	2
	静 岡 日 本 平	1	4	6		計	25	122	203
	静 岡 西	1	5	8	2650	福 井	1	6	10
	裾 野		1	1		福井フェニックス	1	1	1
	計	22	124	198		福 井 東	1	6	11
	岐 阜	1	19	36		福 井 北	1	11	18
	岐 阜 エ ト ス		1	2		福 井 南	1	7	14
	岐 阜 東	1	10	16		福 井 西	1	4	8
	岐 阜 城	1	1	1		福 丸 岡	1	1	1
	岐 阜 加 納	1	7	11		三 江 国	1	1	1
	岐 阜 北	1	3	6		鯖 江 北		2	4
	岐 阜 南	1	7	13		武 生	1	1	1

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2640	大 阪 狭 山		2	3	2640	計	33	209	368
	堺	2	24	47	2660	大 東		5	11
	堺 東	1	11	22		東 大 阪	1	7	13
	堺 北 西	1	1	2		東 大 阪 東	1	4	6
	堺 泉 ケ 丘		3	4		東 大 阪 中	2	10	16
	堺 北	1	5	8		東 大 阪 西	1	3	4
	堺 南	1	14	27		枚 方		1	2
	堺 中	2	4	7		枚 方 く ず は	1	2	5
	堺 西		6	10		茨 木	1	7	12
	堺 おおいずみ	1	6	10		茨 木 東	1	6	10
	堺 清 陵	3	6	10		池 田	1	9	16
	堺 泉 北	2	9	17		池 田 く れ は	1	4	7
	堺 東 南	1	11	21		門 真	1	1	1
	泉 南 石		2	4		交 野		1	2
	高 田 林		3	5		箕 面	1	10	18
	富 田 林	1	5	9		箕 面 中 央	1	5	13
	富 田 林 南	1	4	7		守 口	1	2	6
	有 田 坊		1	1		寝 屋 川	1	3	7
	御 坊 南		4	8		大 阪	1	15	33
	御 坊 本		4	6		大 阪 阿 倍 野		6	12
	橋 本 出	1	4	6		大 阪 ち ゃ や ま ち	1	2	3
	岩 南		1	1		大 阪 中 央	1	3	6
	海 南 東	1	6	10		大 阪 堂 島		2	4
	海 粉 河 山	1	1	1		大 阪 阪 南	1	5	9
	高 野 東		3	5		大 阪 阪 和	1	3	3
	田 辺 山		2	4		大 阪 東	1	7	11
	和 歌 山	1	2	3		大 阪 東 淀		4	9
	和 歌 山 東		1	1		大 阪 平 野	1	4	7
	和 歌 山 城 南	1	4	6		大 阪 本 町	1	2	3
	和 歌 山 北	1	1	1		大 阪 城		1	2
	和 歌 山 南		2	3		大 阪 城 南	1	6	15
	和 歌 山 西	1	7	12		大 阪 城 東	1	3	6
	和 歌 山 東 南	1	2	3		大 阪 柏 原		5	9
	和 歌 山 東 南		4	5		大 阪 北	1	10	21

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2660	大 阪 北 梅 田	1	1	3	2660	豊 中	1	9	20
	大 阪 北 淀	1	3	4		豊 中 南	1	5	12
	大 阪 御 堂 筋	1	1	1		豊 国 大 阪 港	1	7	12
	大 阪 南	1	8	13		豊 中 千 里	1	4	7
	大 阪 み な と		2	3		八 尾		4	9
	大 阪 難 波	1	5	12		八 尾 中 央		1	2
	大 阪 な に わ		2	5		八 尾 東		2	4
	大 阪 南 西		6	12		計	52	354	676
	大 阪 西	1	7	12	2680	明 石		3	6
	大 阪 大 手 前	1	5	10		明 石 北	1	3	3
	大 阪 大 淀	1	4	10		明 石 西		3	4
	大 阪 西 北	1	11	20		赤 穂		1	2
	大 阪 西 南	1	6	9		尼 崎		5	7
	大 阪 船 場		2	3		尼 崎 東		2	3
	大 阪 心 斎 橋	1	5	9		尼 崎 北	1	3	7
	大 阪 城 北		3	7		尼 崎 南	1	1	1
	大 阪 住 之 江	1	4	8		尼 崎 西	1	1	2
	大 阪 住 吉	1	12	19		芦 屋		7	11
	大 阪 天 満 橋	1	8	14		芦 屋 川		2	3
	大 阪 天 王 寺		1	2		淡 路 三 原		1	1
	大 阪 東 南	1	3	4		姫 路		6	8
	大 阪 鶴 見		3	5		姫 路 中 央		1	2
	大 阪 梅 田		5	8		姫 路 南	3	6	8
	大 阪 梅 田 東		2	4		北 条		1	2
	大 阪 う つ ば	1	6	12		伊 丹		2	3
	大 阪 淀 川	1	8	13		伊 丹 有 明	1	6	12
	千 里	1	10	19		加 古 川		2	2
	摂 津		5	13		加 古 川 中 央	1	2	2
	吹 田		9	22		加 古 川 平 成		2	3
	吹 田 江 坂	1	3	5		川 西		1	3
	吹 田 西	1	5	10		川 西 猪 名 川	2	2	3
	高 槻	1	4	7		神 戸	1	19	35
	高 槻 東		4	8		神 戸 ベ イ	1	1	2
	高 槻 西	1	1	2		神 戸 東	2	14	30

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2680	神 戸 東 灘		10	23	2670	松 山	3	8	14
	神 戸 北	1	6	12		松 山 東		2	2
	神 戸 南	2	8	15		松 山 北	1	1	2
	神 戸 中	1	1	2		松 山 南	1	2	3
	神 戸 西	2	16	26		松 山 西	1	4	5
	神 戸 六 甲	1	6	7		高 松		3	4
	神 戸 西 神	1	1	2		高 松 中 央	2	3	5
	神 戸 須 磨	1	9	17		高 松 東	1	2	2
	神 戸 須 磨 北	1	6	7		高 松 南	1	1	2
	神 戸 垂 水	1	7	10		高 松 西		2	3
	三 木	1	4	6		善 通 寺		5	8
	西 宮	2	10	19		計	22	88	139
	西 宮 甲 子 園		10	18		備 前	1	5	8
	西 宮 夙 川		1	2		笠 岡		1	1
	小 野	1	5	9		児 島		1	1
	三 田		2	2		倉 敷	1	5	6
	宝 塚		1	1		倉 敷 東	1	2	2
	宝 塚 武 庫 川		3	4		岡 山	2	6	13
2670	計	30	203	347	2690	岡 山 旭 川	1	1	2
	鳴 門	1	4	6		岡 山 備 南		3	5
	鳴 門 中 央		1	1		岡 山 中 央	1	3	5
	徳 島	2	11	17		岡 山 東	1	8	14
	徳 島 中 央		1	2		岡 山 北 西	1	1	2
	徳 島 東		9	15		岡 山 城	1	2	3
	徳 島 北		1	2		岡 山 北	1	12	21
	徳 島 南	1	5	10		岡 山 岡 南	1	1	1
	徳 島 西	1	3	4		岡山後楽園		3	6
	香 長	1	1	2		岡山丸の内	1	2	4
	高 知	2	9	17		岡 山 南	1	12	18
	高 知 中 央		1	1		岡 山 西	1	8	14
	高 知 東	1	2	2		岡山西南	1	9	16
	高 知 北	2	5	7		総 社 吉 備 路		1	2
	高 知 南		1	1		高 梁		1	2
	高 知 西	1	1	2		玉 野	1	2	4

地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計		地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2690	津 山	1	2	2	2710	下 関	1	4	8
	牛 窓	1	1	1		下 関 東		4	5
	鳥 取	1	4	5		下 関 北		3	5
	鳥 取 中 央		1	2		下 関 西	1	4	5
	鳥 取 北	1	2	2		字 部 西	2	4	5
	鳥 取 西	1	4	6		字 部 西	1	6	7
	出 雲		1	1		山 口 中 央	2	15	22
	出 雲 南		1	2		山 口 中 央		3	5
	松 江 東	1	6	11		山 口 南	1	4	6
	松 江 南		2	2		計	30	189	312
	計	24	115	187	2700	甘 木		2	5
2710	福 山 南		2	4		豊 前	1	2	3
	福 山 南		3	6		豊 前 西	1	1	2
	福 山 南		1	2		太 宰 府		4	8
	福 山 南	4	25	45		福 岡 中 央	1	41	106
	福 山 南	1	3	5		福 岡 中 央	1	10	17
	福 山 南	1	6	12		福 岡 平 成	1	2	3
	福 山 南	3	16	27		福 岡 東	1	15	33
	福 山 南	1	8	15		福 岡 城 南		6	11
	福 山 南	3	13	25		福 岡 城 西	1	20	44
	福 山 南	3	15	25		福 岡 城 東		5	7
	福 山 南	1	4	5		福 岡 北	1	5	10
	福 山 南	2	8	13		福 岡 南	1	19	41
	福 山 南	2	12	19		福 岡 西	1	21	43
	福 山 南		5	6		福 岡 東 南	1	21	36
	福 山 南		2	3		博 多	1	6	15
	福 山 南		1	1		飯 塚	1	4	5
	福 山 南		1	1		小 倉 中 央	1	6	13
	福 山 南		4	5		小 倉 中 央	1	1	1
	福 山 南	1	9	19		小 倉 東 南		8	23
	福 山 南		1	2		小 倉 西	1	3	7
	福 山 南		2	2		小 倉 西		3	6
	福 山 南		2	2		久 留 米 中 央	1	2	5
	福 山 南		1	2		久 留 米 中 央	1	2	4

地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計		地区	世話クラブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2700	久留米東		2	4	2740	牛津		1	2
	久留米北	1	2	4		東長崎	1	8	15
	前原		1	2		長崎	1	28	49
	門司	1	2	3		長崎中央	1	3	4
	門司西	1	2	4		長崎東	2	15	25
	宗像	1	5	7		長崎北東	1	5	10
	直方		1	2		長崎北	2	28	44
	直方中央		1	1		長崎南	1	18	31
	小郡	1	3	4		長崎西	1	4	6
	遠賀		1	2		佐世保	2	5	9
	大川		2	5		佐世保南		3	5
	大川東		2	4		佐世保西		2	4
	大牟田	1	2	4		計	19	147	248
	大牟田北		1	2	2720	別府		1	1
	田川	1	3	5		別府中央		1	2
	戸畑	1	4	5		別府東		3	4
	戸畑東	1	4	4		別府北		2	3
	浮羽		1	1		杵築		1	1
	若松		1	3		大分		2	4
	若松中央	1	3	5		大分中央	1	4	6
	八幡南	1	3	6		大分東	2	5	6
	八幡西	1	1	1		大分1985	1	4	8
	柳川		1	3		大分城西	1	4	5
	行橋	1	3	5		大分南		9	12
	行橋みやこ	1	1	1		大分臨海	1	4	5
	鳥栖	1	2	2		阿蘇	1	1	1
	計	33	263	537		熊本	1	12	24
2740	鹿島		1	2		熊本中央	1	3	5
	小城		1	1		熊本グリーン	1	3	4
	佐賀	2	9	16		熊本平成	1	3	6
	佐賀北	1	4	6		熊本東		9	18
	佐賀南	1	2	2		熊本城東		3	4
	佐賀西	2	8	13		熊本菊南		1	1
	武雄	1	2	4		熊本北	1	4	7

地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計		地 区	世 話 ク ラ ブ	'95年度	'95年度迄の累計	
			人 数	総「人・年」				人 数	総「人・年」
2720	熊 本 江 南		9	14	2730	指 宿		1	2
	熊 本 南	2	7	13		鹿 児 島		15	25
	熊 本 西		3	5		鹿 児 島 中 央	1	10	16
	熊 本 西 南		3	6		鹿 児 島 東		2	4
	熊 本 西 稜	1	3	5		鹿 児 島 城 西		1	2
	熊 本 東 南	1	4	6		鹿 児 島 北	1	1	2
	松 橋	1	2	4		鹿 児 島 南		5	7
	西 天 草		1	3		鹿 児 島 西		5	6
	計	17	111	183		鹿 児 島 西 南		2	3
2730	都 城 北	1	1	1		鹿 児 島 東 南		4	7
	宮 崎		2	3		鹿 屋 西		1	1
	宮 崎 中 央	2	3	6		国 分		1	1
	宮 崎 北	1	4	6		志 布 志		1	1
	宮 崎 南		2	2		計	7	68	108
	宮 崎 西	1	5	9	総 計	奨 学 生 数	949	6,268	10,980
	延 岡		1	3		ク ラ ブ 数	780	1,217	
	阿 久 根		1	1					

※ クラブを主体とした表であるため、奨学期間の途中で世話クラブを変更している者は両方のクラブに含まれる。従って、実際の奨学生数（6,156名）及び総数「人・年」（10,956名）を若干上回る。

(8) 地区別米山奨学委員会一覧表

(1995学年度)

地 区	委 員 長 (所属RC)	委 員 (所属RC)
2500	川口 雄 (釧 路)	鶴田 曠貴 (釧 路 西) 奥山 俊夫 (釧 路 東) 梅本 好幸 (厚 岸)
2510	菊池 正巳 (札 幌 南)	太田 實 (札幌真駒内) 堀居 信次 (札幌モーニング) 吉田 彰 (札 幌 幌 南) 勝木 純一 (札 幌 南)
2520	小原 紀彰 (花 巻)	小山亥一郎 (盛 岡 南) 馬場 一夫 (大 船 渡 西) 佐藤 重雄 (一 関 磐 井)
2810	大村禮二郎 (多 賀 城)	佐久間正義 (仙 台 北) 鈴木 彦太 (佐 沼) 鈴木 洋一 (築 館) 芳賀 元子 (岩 沼) 伊藤善次郎 (涌 谷) 守谷たつみ (仙 台 東)
2530	葉貫 琢良 (本 宮)	推進委員会小委員長 葉貫 琢良 (本 宮) 野口 仁 (郡 山 東) 林 清輔 (会 津 若 松) 桃井富士麿 (福 島 西) 学友委員会小委員長 茨木 龍信 (白 河) 老川 廣美 (須 賀 川) 鈴木 典夫 (福 島 北) 國分 義久 (三 春)
2800	柏倉 学 (山 形 西)	米山推進小委員会委員長 菅 繁三 (東 根) 鈴木 秀男 (河 北) 青山 豊 (酒田スワソ) 米山奨学小委員会委員長 羽生田敬蔵 (米 沢) 安達 廣介 (山 形) 石井 敬三 (鶴 岡)
2540	柳原 良秋 (秋 田)	有明秀太郎 (大 曲) 石岡 好憲 (湯 沢)
2830	関野 英二 (弘 前 東)	赤田 琢 (八 戸) 関司 俊之 (青森モーニング)
2550	黒須 靖 (宇 都 宮 西)	小委員会委員長 関谷 直人 (西 那 須 野) 高橋 滋 (今 市) 勅使川原敏一 (足 利) 推津 弘之 (宇 都 宮 90)
2820	説田 太郎 (土 浦)	小松崎幹雄 (土 浦) 奥田コウドウ (友 部) 藤田 浩 (常 陸 太 田)

地 区	委 員 長 (所属RC)	委 員 (所属RC)
2560	藍原 等 (桐 生 西)	松井 弘次 (桐 生 南) 林 栄一 (沼 田 中 央) 鳥居 邦夫 (長 岡) 新保 基治 (佐 渡) 片貝 博一 (中 之 条) 飯田 久男 (柏 崎) 松村 博史 (新 津 中 央)
2570	浅田 光二 (志 木)	米山奨学推進委員長 細田 金蔵 (和 光) 井花 富男 (新 狭 山) 小林 熊二 (熊 谷) 関口 栄 (新 所 沢) 寺山 栄一 (深 谷 東) 米山奨学学友委員長 山田 隆 (川 越 中 央) 長沢 稔 (日 高) 笠間 益伸 (坂戸さつき) 坂本美智雄 (上 里) 島田陽之亮 (吹 上)
2770	昼間 善次 (八潮イブニング)	道上 洋右 (上 尾 北) 今井 憲晃 (浦 和 北) 芝田 光男 (草加イブニング) 黒崎 誠一 (大 宮 北) 寺岡 孝 (桶 川) 吉沢 英夫 (岩 槻 東) 八木 隆男 (大 宮)
2580	長嶋 雅之 (東 京)	選考担当副委員長 井上 信昭 (東 京 足 立) 上野 操 (東京江戸川) 山佐 福栄 (東 京 江 北) 竹石 三吉 (東京練馬西) 高橋 博道 (東京葛飾東) 河西 昭典 (東京新都心) 佐藤 晃 (東京池袋西) 知念 公男 (那 覇 東) 増進担当副委員長 桜井 権司 (東京武蔵野) 楚良 善貞 (東 京 荒 川) 宮崎 昌純 (東 京 浅 草) 山本 十一 (東 京 清 瀬) 波多野 稔 (東京武蔵村山) 宇津木喜義 (東 京 青 梅) 大宜見 齊 (那 覇 西)
2750	西田 守男 (東 京 日 野)	副委員長 平野 熙幸 (東京日本橋東) " 根岸 浩秀 (東京シティ日本橋) 米山奨学増進委員長 平野 熙幸 (東京日本橋東) " 副委員長 吉岡 良一 (東京八王子西) 秋山 貞夫 (東京シティ日本橋) 安藤 公裕 (東 京 大 崎) 飯野 公一 (東 京 城 西) 井上 利夫 (東京八王子西) 中野 隆右 (東京立川こぶし) 吉野 幹夫 (東 京 府 中) 米山奨学選考委員長 根岸 浩秀 (東京シティ日本橋) " 副委員長 栗山 博行 (東京狹江多摩川) 福本 忍 (東京日本橋西) 盛岡 公彦 (東 京 京 浜) 宇田川紀通 (東 京 杉 並) 久保田忠義 (東京町田中) 川根 敏明 (東 京 国 立) 桜井 孝三 (東京調布むらさき)
2590	余川 和夫 (川 崎 多 摩)	米山奨学金増進委員長 佐藤 靖雄 (横 浜 南 陵)

地 区	委 員 長 (所属RC)	委 員 (所属RC)
		杉田 範夫 (川 崎) 井田 耕夫 (川 崎 鷺 沼) 亀ヶ谷真久 (川 崎 高 津) 藤林 豊明 (横 浜 鶴 見 北) 米山学友委員長 持田 裕弘 (川 崎 高 津) 中島 正臣 (川 崎 宮 前) 齊藤 正義 (川 崎 西) 柿野谷 薫 (横 浜 鶴 見 北) 永島 敬識 (横 浜 金 沢) 鳥海 和 (横 浜 保 土 ヶ 谷)
2780	小澤 重治 (小 田 原)	米山奨学金増進委員長 永井 幸作 (相 模 原) 上林 茂 (横 須 賀) 山岸 治 (鎌 倉 中 央) 今井 康夫 (藤 沢 西) 山田 英夫 (茅 ヶ 崎 湘 南) 高橋 秀樹 (秦 野 名 水) 井上 浩吉 (大 磯) 井島 誠夫 (小 田 原 北) 米山学友委員長 佐藤 行信 (鎌 倉) 高橋 孝道 (横 須 賀 西) 五味 義武 (藤 沢 北) 関戸 一守 (相 模 原 東) 斎藤 達夫 (厚 木 中) 橋本 理吉 (大 和 田 園) 東島 光明 (秦 野 名 水) 石塚 敬蔵 (平 塚 北) 大川 進 (小 田 原 北)
2790	川口 卓三 (千 葉 西)	学友小委員長 田中 政朋 (野 田 東) 加瀬 一郎 (館 山) 菊地 忠 (新 千 葉) 加倉井 正 (四 街 道) 金子 晃典 (市 川) 森下 俊夫 (柏 西)
2600	釘本 完 (松 本)	浅田 節夫 (伊 那) 中越 紀雄 (松 本 南) 中嶋 栄一 (あ づ み 野) 小口 正行 (長 野)
2760	小田 公平 (豊 橋)	副委員長 天野 久 (西 尾) 金田 正也 (尾 張 旭) 梶川 重久 (名 古 屋 名 北) 加藤 凱也 (半 田) 堀田 能正 (豊 橋)
2610	飯野 健志 (金 沢 北)	副委員長 藤平 正夫 (富 山 南) 岡本清右衛門 (高 岡 万 葉) 室橋 健男 (富 来) 南日 寛 (富 山) 久保田 栄治 (山 中)
2620	土屋 忠男 (沼 津 北)	副委員長 佐野鎌太郎 (甲 府 南) 府川 莊四郎 (清 水 北) 深沢 正直 (静 岡 北) 藤野 匡司 (浜 松 中)
2630	大熊 悟 (岐 阜 南)	副委員長 松岡 耕司 (四 日 市 北) 近藤 進 (岐 阜 長 良 川) 土井 勇夫 (多 治 見) 中西 勉 (松 阪 東)

地 区	委 員 長 (所属RC)	委 員 (所属RC)
2650	黒田 正名 (京 都 洛 西)	副委員長 大門 俊吾 (福 井 西) 藤原 誠 (峰 山) 米山選考委員長 〃 副委員長 高橋 正 (武 生 府 中) 苅坂 毅 (奈 良 西) 福井 弥平 (大 津 西) 上田 陽 (京 都 嵯 峨 野) 安田 勝彦 (奈 良) 清水 武彦 (京 都) 吉田 精一 (長 浜) 西島 栄種 (京 都 城 陽)
2640	永井 孝弘 (堺 東 南)	岩崎太加男 (御 坊) 塔本 勝 (河 内 長 野) 音田 篤 (泉 佐 野) 濱口 公一 (田 辺) 渋谷 昌之 (岸 和 田) 大山 典男 (和 歌 山 南) 山本 久 (堺 南)
2660	渡辺 斌 (東 大 阪 中)	副委員長 平岡 龍人 (大 阪) 清基 英昭 (池 田) 酒井 宏 (大 阪 南) 杉本 三郎 (大 阪 淀 川) 三好三郎丸 (大 阪 天 満 橋) 渋谷 敏郎 (大 阪 北) 西原 漸 (高 槻 東) 平田啓治郎 (大 阪 西 南)
2680	市居 嘉雄 (西 宮)	副委員長 原田 順造 (津 名) 久住 康太 (明 石 北) 滝澤 功治 (神 戸 須 磨) 米田 浩之 (姫 路 中 央) 右近 昭正 (加 古 川 平 成) 平尾 登 (篠 山) 美田 和茂 (神 戸 東 灘) 上西喜代士 (尼 崎 北) 学友会担当 大西 五郎 (加 古 川)
2670	佐藤 利夫 (徳 島 南)	久米房之助 (高 松 西) 村上 敬朋 (今 治) 坂本昌三郎 (高 知) 河原 次瞭 (松 山 南)
2690	山尾 昌平 (松 江 南)	白根 一 (米 子) 廣瀬 成史 (倉 敷 東) 杉本 邦夫 (津 山 中 央) 浅津 俊雄 (出 雲 中 央) 金田 勉 (岡 山 旭 川) 上井平二郎 (岡 山 岡 南)
2710	棟居 宏至 (徳 山 東)	椎木 緑司 (広 島 東) 小田原正三郎 (福 山)
2700	中村 次郎 (福 岡 東 南)	丸田 宏幸 (久 留 米) 山田 勲造 (福 岡) 波多野聖雄 (福 岡 中 央) 松尾 光幸 (小 倉) 鳥谷 潤 (豊 前) 松井 弘彦 (遠 賀) 大楠 正子 (福 岡 平 成)

地 区	委 員 長 (所属RC)	委 員 (所属RC)
2740	香月 孝 (佐 賀)	八谷 繁一 (佐 世 保 西) 今村 親示 (長 崎 南) 堤 和之 (佐 賀 大 和) 七條 健 (雲 仙) 富田 菊夫 (唐 津 西)
2720	斉藤 和 (熊 本)	金馬 治郎 (大 分 南) 杉田 辰彦 (熊 本 南) 吉村 浩平 (熊 本 東) 志賀 史光 (大 分 城 西)
2730	長友 大 (宮 崎 北)	大津 篤造 (鹿 児 島 中 央) 宮田 周郎 (宮 崎 南) 菅 健志 (鹿 児 島 中 央)

1994(平成6)年度 収支決算報告書

自1994年7月1日～至1995年6月30日

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)
収 入 の 部			
1. 普 通 寄 付 金	460,000,000	477,506,930	17,506,930
2. 特 別 寄 付 金	1,300,000,000	1,549,934,584	249,934,584
3. (小 計)	(1,760,000,000)	(2,027,441,514)	(267,441,514)
4. 利 子 収 入	300,000,000	284,609,673	△15,390,327
5. 公 社 債 償 還 益	6,375,000	6,375,000	0
6. 雑 収 入	300,000	30,000	△270,000
7. (小 計)	(306,675,000)	(291,014,673)	(△15,660,327)
8. 当 期 収 入 合 計	2,066,675,000	2,318,456,187	251,781,187
9. 前 年 度 繰 越	173,447,506	173,447,506	0
10. 合 計	2,240,122,506	2,491,903,693	251,781,187
支 出 の 部			
11. 奨 学 生 関 係 費	(1,760,530,000)	(1,733,853,432)	(△26,676,568)
12. 奨 学 金	1,552,230,000	1,521,200,000	△31,030,000
13. 課 外 補 助 金	47,600,000	47,500,000	△100,000
14. 医 療 補 助 費	700,000	178,050	△521,950
15. 記 念 品 費	13,500,000	12,709,660	△790,340
16. 試 験 ・ 会 合 費	21,000,000	25,716,833	4,716,833
17. 地 区 活 動 費	47,500,000	47,400,000	△100,000
18. カウンセラー活動費	19,000,000	18,960,000	△40,000
19. 通 信 費	1,500,000	1,554,485	54,485
20. 函 書 費	14,500,000	16,273,493	1,773,493
21. 送 金 手 数 料	5,000,000	4,985,398	△14,602
22. 元 奨 学 生 関 係 費	4,000,000	3,888,977	△111,023
23. 奨 学 生 名 簿 費	4,500,000	3,433,468	△1,066,532
24. 奨 学 生 雑 費	1,000,000	1,613,068	613,068
25. 世 話 クラブ 補助 費	28,500,000	28,440,000	△60,000
26. 事 務 関 係 費	(188,700,000)	(188,138,896)	(△561,104)
27. 会 合 ・ 旅 費	18,000,000	17,481,844	△518,156
28. 給 与 費	50,000,000	52,758,187	2,758,187
29. 福 利 厚 生 費	7,200,000	7,120,699	△79,301
30. 通 信 費	6,500,000	4,706,958	△1,793,042
31. 印 刷 費	11,000,000	12,260,232	1,260,232
32. 文 具 費	1,000,000	712,304	△287,696
33. 借 室 料	16,000,000	17,489,250	1,489,250
34. 交 通 費	2,000,000	1,309,435	△690,565
35. 募 金 経 費	60,000,000	62,531,460	2,531,460
36. 什 器 備 品 費	5,000,000	0	△5,000,000
37. 送 金 手 数 料	300,000	145,230	△154,770
38. 退 職 給 与 引 当 金 繰 入	3,200,000	4,089,430	889,430
39. 事 務 機 賃 借 料	5,500,000	5,425,628	△74,372
40. 事 務 費 雑 費	3,000,000	2,108,239	△891,761
41. 予 備 費	30,000,000	0	△30,000,000
42. 当 期 支 出 合 計	1,979,230,000	1,921,992,328	△57,237,672
剰 余 金			
43. 前 年 度 繰 越	173,447,506	173,447,506	0
44. 当 年 度 剰 余 金	87,445,000	396,463,859	309,018,859
45. 小 計	260,892,506	569,911,365	309,018,859
46. 合 計	2,240,122,506	2,491,903,693	251,781,187

1994(平成6)年度 貸借対照表

1995年6月30日現在

<u>資 産 の 部</u>		<u>負 債 の 部</u>	
<u>基 本 財 産</u>		退職給与引当金	50,699,700
国	債 2,905,033,000		
貸 付 信 託	644,590,000		
抵 当 証 券	13,000,000		
金 融 債	275,000,000		
政 府 保 証 債	195,464,000		
自由金利型定期預金	466,913,000		
(基本財産計	4,500,000,000)	(負債合計	50,699,700)
<u>運 用 財 産</u>		<u>正 味 財 産 の 部</u>	
国	債 1,323,427,500	基 本 金	4,500,000,000
金 融 債	1,170,000,000	特 別 積 立 金	3,700,000,000
自由金利型定期預金	1,802,000,000	剰 余 金(注)	569,911,365
通 知 預 金	10,000,000		
普 通 預 金	1,005,325		
預 託 保 証 金	549,120		
敷 金	13,629,120		
(運用財産計	4,320,611,065)	(正味財産計	8,769,911,365)
資 産 合 計	8,820,611,065	負債・正味財産合計	8,820,611,065

(注) 剰余金の内訳

預託保証金・敷金に充当	14,178,240
その他の運用財産	555,733,125
合 計	569,911,365

財 産 目 録

1995年 6 月30日 現在

資 産 の 部

科 目	金 額	備 考
基 本 財 産		
国 債	2,905,033,000	額 面 2,950,000,000
貸 付 信 託	644,590,000	三井信託銀行本店
抵 当 証 券	13,000,000	さくら抵当証券㈱
金 融 債	275,000,000	東京銀行
政 府 保 証 債	195,464,000	額 面 200,000,000
自由金利型定期預金	466,913,000	さくら銀行京橋支店 246,913,000 三井信託銀行本店 220,000,000
(小 計)	(4,500,000,000)	
運 用 財 産		
国 債	1,323,427,500	利付国債 額 面 300,000,000 割引国債 額 面 1,100,000,000
金 融 債	1,170,000,000	東京銀行
自由金利型定期預金	1,802,000,000	さくら銀行京橋支店
通 知 預 金	10,000,000	さくら銀行京橋支店
普 通 預 金	1,005,325	さくら銀行京橋支店 948,145 東京銀行丸の内支店 57,180
預 託 保 証 金	549,120	㈱エービーシー会館
敷 金	13,629,120	㈱エービーシー会館
(小 計)	(4,320,611,065)	
合 計	8,820,611,065	

負 債 の 部

退 職 給 与 引 当 金	50,699,700	
合 計	50,699,700	

正 味 財 産	8,769,911,365	
---------	---------------	--

剰 余 金 処 分

剰 余 金	569,911,365 円
-------	---------------

これを次の通り処分します。

基 本 金	100,000,000 円
-------	---------------

特 別 積 立 金	300,000,000 円
-----------	---------------

次 年 度 繰 越	169,911,365 円
-----------	---------------

監 査 報 告 書

平成 6年度 (自平成 6年 7月 1日)
至平成 7年 6月30日)

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理事長 末 永 直 行 殿

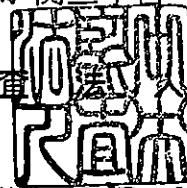
平成 7年 7月 24日

東京都千代田区霞が関三丁目 2番 5号霞が関ビル32階

中 央 監 査

代表社員
関与社員

公認会計士



北村吉弘

当法人は、財団法人ロータリー米山記念奨学会の平成6年7月1日から平成7年6月30日までの平成6年度会計の監査のため、同会事務局へ往査して、寄付行為・決算書類・帳簿記録及びその他の証憑書類等を査閲いたしました。

監査の結果、その会計手続は寄付行為及び施行細則に従って正当に実施されており、また、ここに添付されている収支決算報告書・貸借対照表及び財産目録は同会の平成6年度の収支の状況及び同年末における財産状態を正しく表示し、更に剰余金処分案は正当なものであることを認めました。

同会と当法人又は関与社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はありません。

以 上



監 査 報 告 書

1995年8月1日

1. 1994（平成6）年度 会計報告につき詳細監査した結果、
収支決算書並びに財産目録は、いずれも正確、適正なること
を認め、ここに報告します。

剰余金処分案は、適正なものと認めます。

2. 中央監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

監

事

加美山 節 

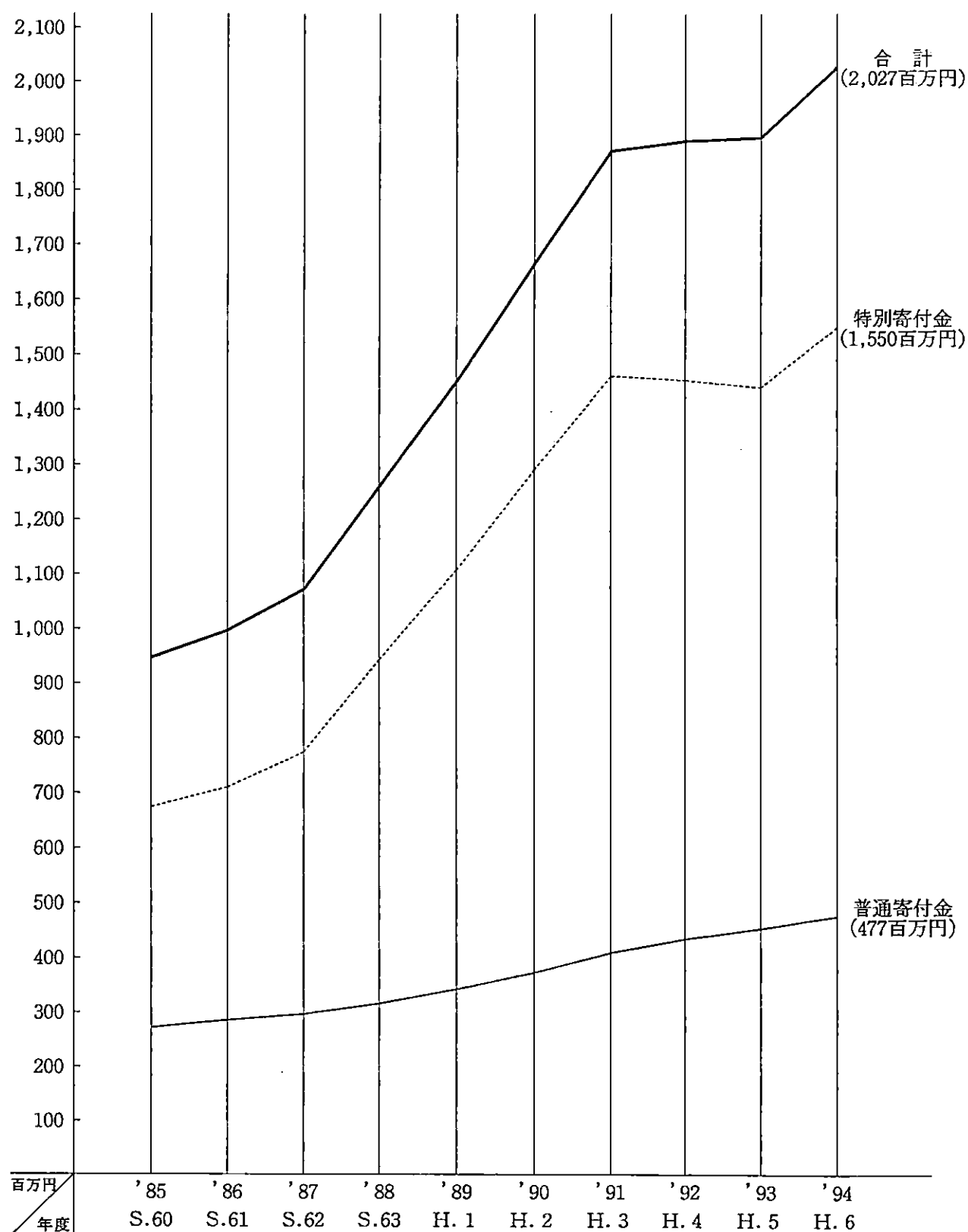
監

事

松井 五郎 

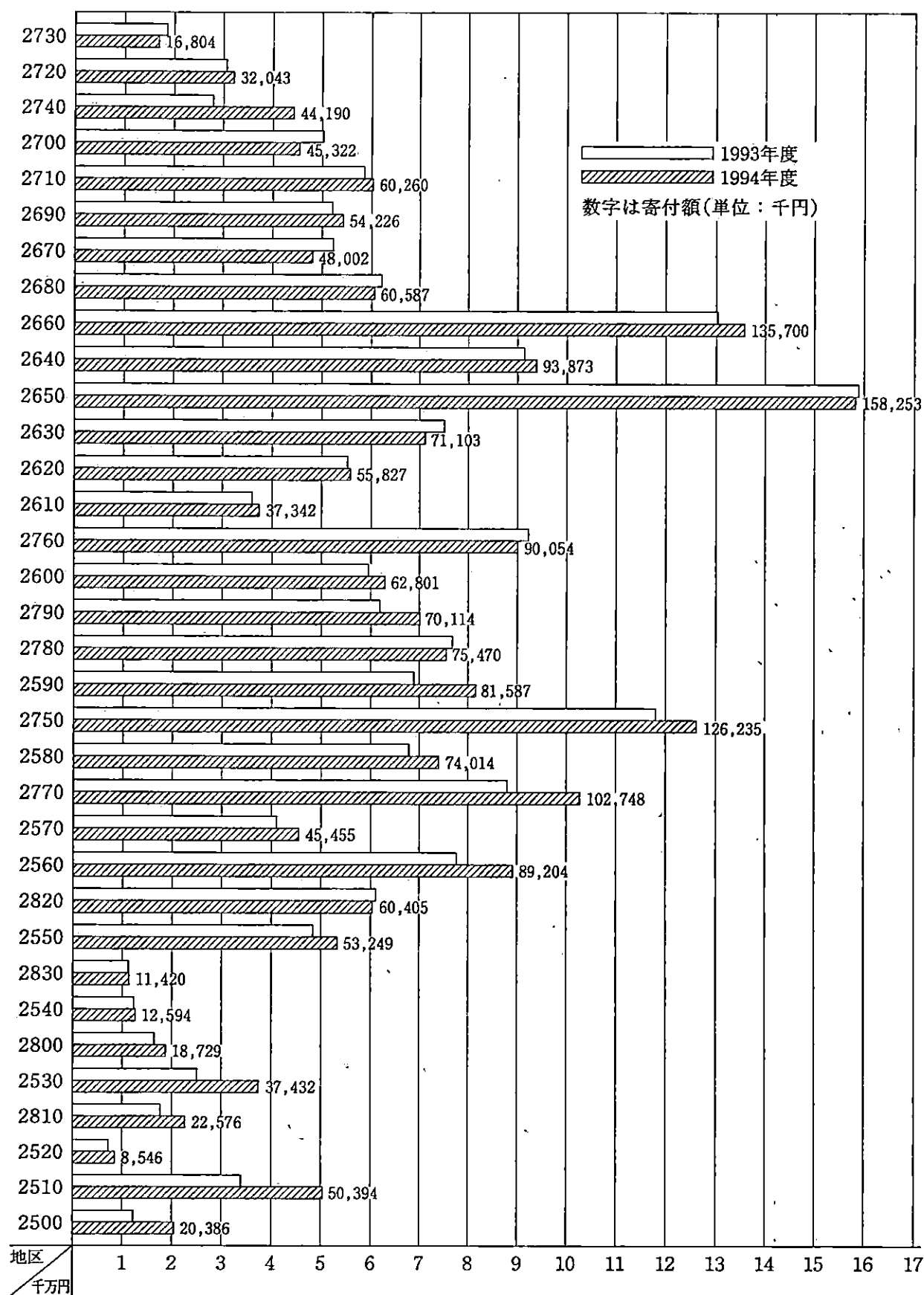
財団法人ロータリー米山記念奨学会

過去10年間年度別寄付金推移



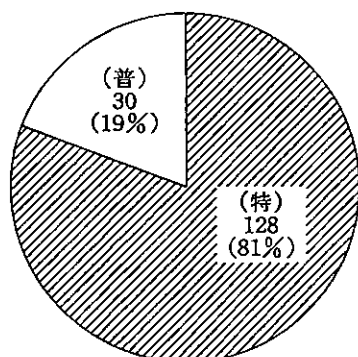
財団法人ロータリー米山記念奨学会

全国寄付金納入状況



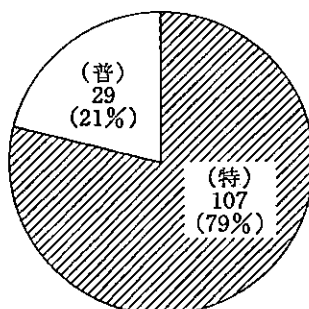
財団法人ロータリー米山記念奨学会
1994(平成6)年度寄付金9千万円以上の地区

2650地区
158百万円



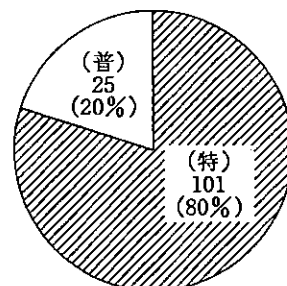
6,643名
1人平均23,822円

2660地区
136百万円



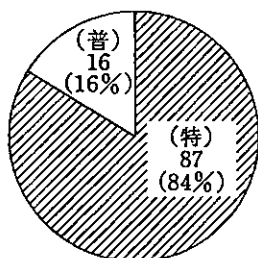
5,469名
1人平均24,812円

2750地区
126百万円



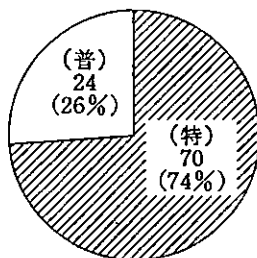
5,713名
1人平均22,096円

2770地区
103百万円



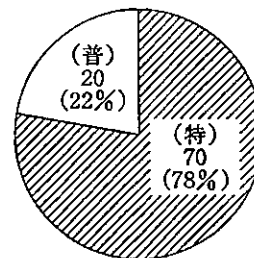
3,845名
1人平均26,722円

2640地区
94百万円



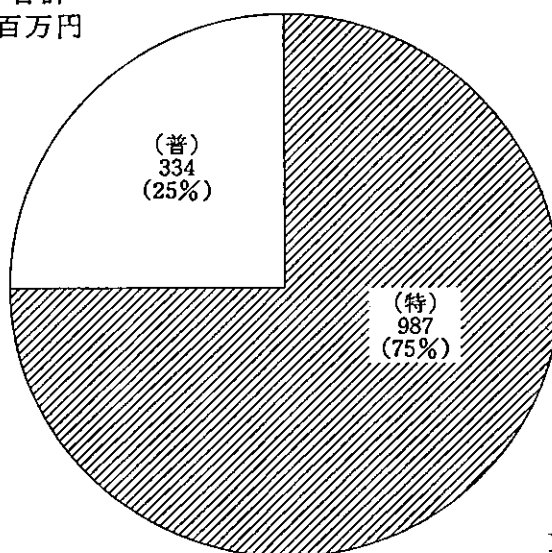
3,839名
1人平均24,452円

2760地区
90百万円



6,055名
1人平均14,872円

その他の合計
1,321百万円

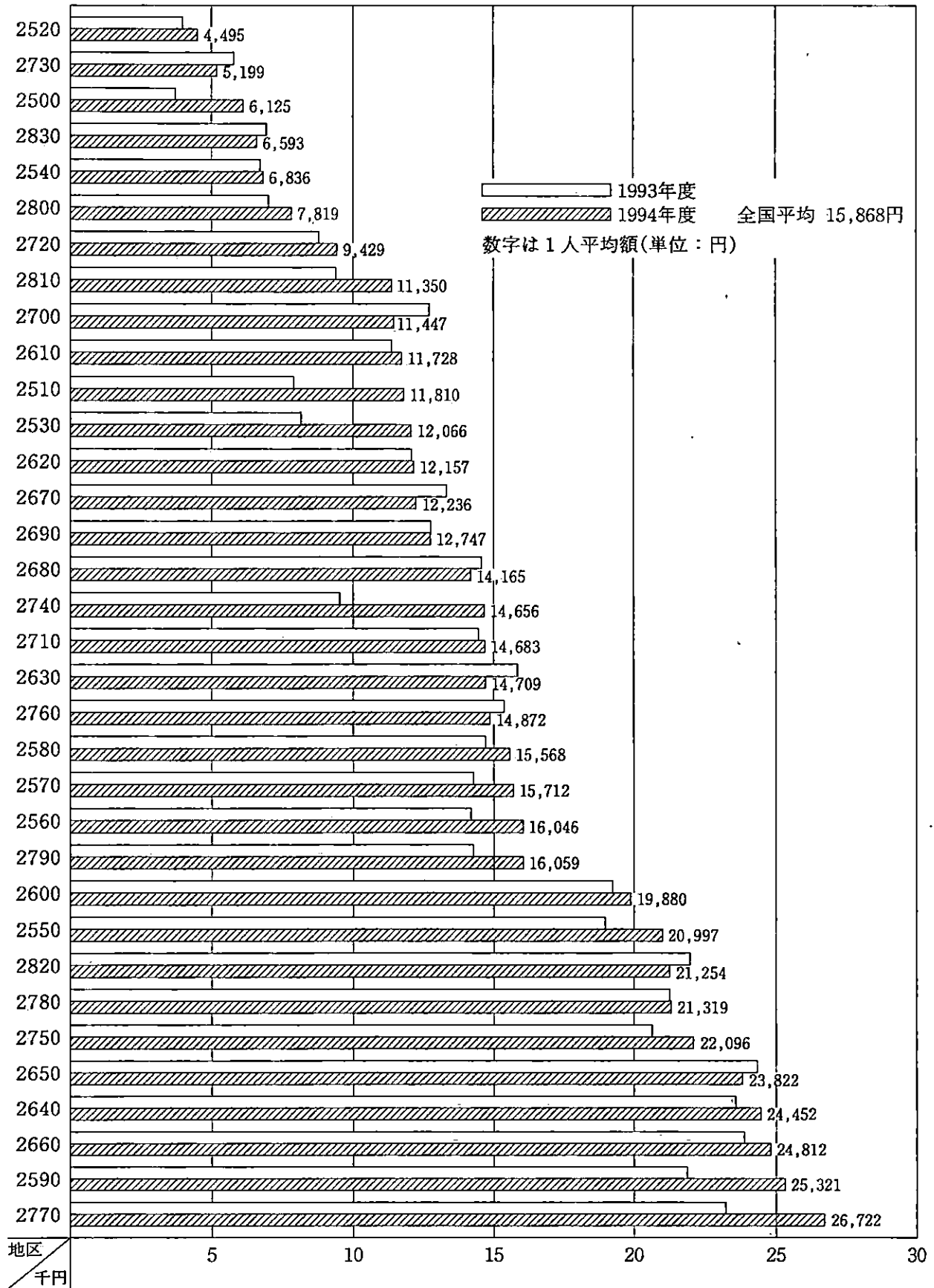


96,199名
1人平均13,728円

□ 普通寄付金
▨ 特別寄付金

財団法人ロータリー米山記念奨学会

地区別 1 人平均順位



1995(平成7)年度 事業計画

(自1995年7月1日～至1996年6月30日)

1. 奨学生数及び奨学金

(1) 1996年4月からの奨学生は、

Y奨学生及びDisY奨学生	910人
内 大学院生	640人(仮定)
学部生	270人(仮定)
CY奨学生	50人(仮定)
SY-1奨学生	15人
SY-OB奨学生	10人
調整枠(理事長枠)	15人

計1000人

と予定する。

CY奨学金申請者数は明年1月頃に判明するが、現時点では50人と仮定し、それ以上の場合は枠外で採用する。

(2) 奨学金は、次の通り支給する。

学部生(YU)	}	月額12万円
地区米山奨学生(DisY-A)		
特別米山奨学生(SY-1)		
大学院生(YMD)	}	月額15万円
クラブ米山奨学生(CY)		
地区米山奨学生(DisY-B)		
特別米山奨学生(SY-OB)	}	月額22万円

2. Y奨学金制度は、YUとYMDの2種類とする。

(1) YUは、1996年4月より

学部3、4年目

医・歯・獣医学部5、6年目とする。

ただし、国籍による制限がある。

(2) YMDは、1996年4月より

大学院修士課程1、2年目

博士課程2、3年目

医・歯・獣医学系博士課程3、4年目とする。

奨学期間は2カ年以内とする。

(詳細は「募集要項」を参照)

3. CY奨学金制度の適用範囲

現在YMDおよびDisY-B奨学金を受給中の者で、奨学期間終了後1年以内で博士号取得見込みの者。

ただし奨学金の支給は、CY奨学期間を含み、通算3年を越えることはない。

(詳細は「CY奨学金制度」を参照)

4. DisY奨学金制度

(1) DisY-A

ロータリークラブ所在国から来日し、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程等に在籍する者。

毎年各地区一律1名で、地区の割当数内で採用。

(2) DisY-B

以前にロータリークラブが存在していた国から修学または学術研究のため在留資格「留学: College Student」で来日し、1996年4月より大学院の次の課程・学年に在籍する者とする。

修士課程1、2年目

博士課程2、3年目

医・歯・獣医学系博士課程3、4年目

割当数は、各地区の当該年度割当数の15%以内とし、小数点以下は切り上げ可。

なお、DisY-B継続者およびCYは、この15%の枠外とする。

各地区割当数の中で採用する。

(詳細は、別添の「DisY奨学金制度」を参照)

5. SY奨学金制度

(1) SY-1

ロータリーのある発展途上国(以前にロータリーが存在していた発展途上国を含む)から来日する短期研修生に対する奨学金。

常務理事会及び理事会において、受入団体と各団体への割当人数を定め、常務理事会においてその採用を決定する。

奨学金 月額12万円

その他の補助費はY奨学生に準ずる。

奨学期間 1年以内

採用人数 15人以内

受入団体 アジア学院とPHD協会

(2) SY-OB

第4期実施期間: 1996年度～1998年度

日本の大学において博士号取得済の元米山奨学生(帰国後5年以上経過し、50才未満の者)で、日本国内における研修プログラム、指導者、受入団体および研究室

等がすでに決まっており、短期間の研修後帰国し、母国の発展に寄与する者を対象とする奨学金。

奨 学 金 月額 22 万円

日本国内の学会・研修出席旅費として、別途 5 万円支給する。

奨学期間 2 カ月以上 6 カ月以内

採用人数 10 人以内

(詳細は別添の「SY 奨学金制度」を参照)

6. 台湾・韓国の学友会が推薦する申込者の採用

当奨学金申込者のなかから、毎年大学および課程・学年を指定し、台湾・韓国の学友会に各 3 名の推薦を依頼する。

両国の学友会は推薦を決定するに当り、この件についての責任ロータリアンとともに選考にあたる。

当会にて書類選考を行うが、基本的に先方の推薦を重視する。

学 年 1996 年 4 月から博士課程 2・3 年目、医・歯・獣医学系博士課程
3・4 年目

試行期間 1996 学年度より 3 年間試行

7. 選考事務の地区への委託

- (1) 米山奨学会事務局は、受付けた申込書を地区別に仕分けし、それぞれの地区ガバナー事務所へ送付。
- (2) 各地区ガバナー事務所において申込書をコピーし、選考委員に配布。
- (3) 各地区で選考した合格予定者(補欠 10 名を含む)を地区担当理事から米山奨学会事務局へ通知。
- (4) 米山奨学会事務局は合格予定者の資格を確認し、もし不適格者があれば、補欠者を繰上げて合格予定者に加えて、常務理事会へ報告。
- (5) 常務理事会で合格者を決定。
- (6) 米山奨学会は、各地区ガバナー事務所に対し、選考事務委託に伴う諸経費(金額は常務理事会で決定)を支払う。

8. 専門委員会

財務・学務・広報・学友の 4 部門の委員会を開き、専門家の意見を取り入れ、当会の事業をより充実、発展させる。

9. 在日米山奨学生学友会

日本に滞在している元および現米山奨学生の学友会を、各地区又は地域で設置する。

10. 「よねやまだより」

年 2 回発行している「よねやまだより」をロータリアン・指導教官・奨学生および在日・一部帰国学友に配布して、当会事業への理解を深める。

11. 米山奨学会 P. R. 用ビデオ制作の件

当会の P. R. 用ビデオについて、最近各地区より多くの照会があるため、米山梅吉翁のプロフィール、当奨学事業の内容、歴史等、解り易くまとめたビデオの制作を静岡放送に依頼する。

12. 寄付の推進

- (1) 安定財源として普通寄付の推進につとめる。
- (2) 免税措置の P Rを図り、特別寄付を一層推進する。

1995(平成7)年度 収支予算

自1995年7月1日～至1996年6月30日

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
収 入 の 部			
1. 普 通 寄 付 金	480,000,000	460,000,000	20,000,000
2. 特 別 寄 付 金	1,500,000,000	1,300,000,000	200,000,000
3. (小 計)	(1,980,000,000)	(1,760,000,000)	(220,000,000)
4. 利 子 収 入	275,000,000	300,000,000	△25,000,000
5. 公 社 債 償 還 益	4,750,000	6,375,000	△1,625,000
6. 雑 収 入	100,000	300,000	△200,000
7. (小 計)	(279,850,000)	(306,675,000)	(△26,825,000)
8. 当 期 収 入 合 計	2,259,850,000	2,066,675,000	193,175,000
9. 前 年 度 繰 越	169,911,365	173,447,506	△3,536,141
10. 合 計	2,429,761,365	2,240,122,506	189,638,859
支 出 の 部			
11. 奨 学 生 関 係 費	(1,867,160,000)	(1,760,530,000)	(106,630,000)
12. 奨 学 金	1,629,060,000	1,552,230,000	76,830,000
13. 課 外 補 助 金	50,000,000	47,600,000	2,400,000
14. 医 療 補 助 費	700,000	700,000	0
15. 記 念 品 費	13,500,000	13,500,000	0
16. 試 験 ・ 会 合 費	27,000,000	21,000,000	6,000,000
17. 地 区 活 動 費	50,000,000	47,500,000	2,500,000
18. カウンセラー活動費	20,000,000	19,000,000	1,000,000
19. 通 信 費	2,500,000	1,500,000	1,000,000
20. 函 書 費	18,500,000	14,500,000	4,000,000
21. 送 金 手 数 料	5,500,000	5,000,000	500,000
22. 元 奨 学 生 関 係 費	14,000,000	4,000,000	10,000,000
23. 奨 学 生 名 簿 費	5,400,000	4,500,000	900,000
24. 奨 学 生 雑 費	1,000,000	1,000,000	0
25. 世 話 クラブ 補助 費	30,000,000	28,500,000	1,500,000
26. 事 務 関 係 費	(216,700,000)	(188,700,000)	(28,000,000)
27. 会 合 ・ 旅 費	20,000,000	18,000,000	2,000,000
28. 給 与 費	55,500,000	50,000,000	5,500,000
29. 福 利 厚 生 費	7,500,000	7,200,000	300,000
30. 通 信 費	5,500,000	6,500,000	△1,000,000
31. 印 刷 費	12,000,000	11,000,000	1,000,000
32. 文 具 費	1,000,000	1,000,000	0
33. 借 室 料	19,700,000	16,000,000	3,700,000
34. 交 通 費	2,000,000	2,000,000	0
35. 募 金 経 費	65,000,000	60,000,000	5,000,000
36. 什 器 備 品 費	10,000,000	5,000,000	5,000,000
37. 送 金 手 数 料	300,000	300,000	0
38. 退 職 給 与 引 当 金 繰 入	3,200,000	3,200,000	0
39. 事 務 機 賃 借 料	5,500,000	5,500,000	0
40. 特 別 事 業 費	6,500,000	0	6,500,000
41. 事 務 費 雑 費	3,000,000	3,000,000	0
42. 予 備 費	30,000,000	30,000,000	0
43. 当 期 支 出 合 計	2,113,860,000	1,979,230,000	134,630,000
剰 余 金			
44. 前 年 度 繰 越	169,911,365	173,447,506	△3,536,141
45. 当 年 度 剰 余 金	145,990,000	87,445,000	58,545,000
46. 小 計	315,901,365	260,892,506	55,008,859
47. 合 計	2,429,761,365	2,240,122,506	189,638,859

注：1995年6月30日現在、年度末の数字にもとづき、剰余金及び前年度繰越金を修正。

1995(平成7)年度 評 議 員

新任 ※印 (43名)

再任 △印 (59名)

第2500地区

※田 村 昇 市 (帯 広)
△矢 坂 庸 三 (佐 呂 間)
△進 藤 和 行 (旭 川)

第2540地区

△渡 部 美 種 (秋 田)
※黒 澤 正 雄 (角 館)
△柳 原 良 秋 (秋 田)

第2510地区

△西 條 正 博 (札 幌)
※野 口 信 夫 (小 樽)
※菊 池 正 巳 (札 幌 南)

第2830地区

△佐 藤 邦 夫 (八 戸 東)
※杉 浦 仁 郎 (青 森 東)
△関 野 英 二 (弘 前 東)

第2520地区

△南 部 利 昭 (盛 岡)
※高 橋 忠 夫 (北 上 西)
△千 葉 政 男 (水 沢)

第2550地区

△山 浦 虔 一 (小 山)
※宮 崎 柏 (宇 都 宮)
△黒 須 靖 (宇 都 宮 西)

第2810地区

△山 口 三 郎 (石 巻 東)
※岡 本 禄 太 郎 (涌 谷)
※大 村 禮 二 郎 (多 賀 城)

第2820地区

△木 村 功 (竜 ヶ 崎)
※佐 藤 二 郎 (土 浦)
※山 縣 健 三 (水 戸 西)

第2530地区

△國 分 雄 太 郎 (本 宮)
※初 瀬 行 雄 (郡 山)
△田 代 隆 一 (須 賀 川)

第2560地区

△重 田 政 信 (高 崎 北)
※吉 田 昭 平 (村 上)
△大 島 精 次 (高 田)

第2800地区

△渡 部 保 太 郎 (長 井)
※伊 藤 政 一 (酒 田 中 央)
※柏 倉 学 (山 形 西)

第2570地区

△金 子 千 侍 (秩 父)
※大 館 清 次 (朝 霞)
△浅 田 光 二 (志 木)

第2770地区

△仙崎昭信(鳩ヶ谷武南)
※高窪昭雄(浦和)
※内田長祐(川口北)

第2580地区

△橋立昭(東京東大和)
※中村昌平(東京北)
△石川利一(東京西北)

第2750地区

△丸山宏(東京銀座)
※中村健二郎(東京城西)
△若林卯太郎(東京日本橋)

第2590地区

△鈴木清次(川崎西)
※青山彰義(横浜鶴峰)
△中山義之(横浜南)

第2780地区

△真崎勇(座間)
※河本親秀(大磯)
△神崎正陳(茅ヶ崎湘南)

第2790地区

△石井亮太郎(松戸東)
※長島洋三(市川東)
△大矢惣一郎(大原)

第2600地区

△木暮揚(あづみ野)
※池上英雄(辰野)
△田中洋三(長野)

第2760地区

△石川和昌(豊橋)
※松本宏(半田)
△蜂谷弘道(名古屋和合)

第2610地区

△湯尻清一郎(加賀)
※高田秀穂(富山西)
△大木隆(高岡北)

第2620地区

△高橋堯昭(吉原)
※青島廣幸(静岡)
△土屋忠男(沼津北)

第2630地区

△古庄五生(多治見西)
※中川良三(下呂)
△大熊悟(岐阜南)

第2650地区

△坂部慶夫(京都洛中)
※足高晋(大和高田)
△二橋貞雄(八日市)

第2640地区

△楠公延(橋本)
※中村幸吉(富田林)
△大澤徳平(堺)

第2660地区

△熊澤忠躬(守口)
※中川章三(大阪城南)
※菅生浩三(大阪北)

第2680地区

△松岡通夫(神戸)
※田中毅(芦屋川)
※市居嘉雄(西宮)

第2670地区

※佐藤成俊(徳島西)
※三宅洋三(高松)
△須之内淳二(松山西)

第2690地区

△橋田勤(松江南)
※君島健次郎(米子)
※山尾昌平(松江南)

第2710地区

△山田宏(徳山東)
※天野肇(福山)
△筒井數三(広島東)

第2700地区

△松田尊文(福岡東)
※本間四郎(久留米東)
△片岸修次(八幡南)

第2740地区

△佐古亮尊(大村北)
※牟田勝輔(武雄)
△市瀬久米嘉(佐世保東)

第2720地区

△前岡志郎(別府北)
※岸忠雄(菊池)
△金馬治郎(大分南)

第2730地区

△竹内三郎(宮崎西)
※海江田順三郎(鹿児島中央)
△長友大(宮崎北)

1995(平成7)年度 理事・監事および顧問

※印 新任

名誉理事長	湯末	浅永	恭直	三行	(2580)	東京	
理事	高野	田津	孫左	門二	(2700)	福岡	西
副理事長	増島	原野	房久	厚助	(2620)	甲府	
常務理事	湯濱	藤田	竹之	照春	(2650)	京都	山科
常務理事	近種	松本	堅正	憲次	(2730)	都	城
常務理事	山白	川石	卓久	臣明	(2820)	土浦	
常務理事	菅佐	久間	周有	一寿	(2580)	東京	江北
常務理事	遠大	藤友	栄次	郎助	(2750)	東京	目黒
常務理事	生鈴	駒木	利日	出夫	(2660)	大阪	住吉
常務理事	渡堀	田中	基一	一男	(2710)	福山	
常務理事	※田木	上野	徳義	兵民	(2500)	旭川	
常務理事	※伊岡	塚田	良一	茂雄	(2510)	札幌	手稲
常務理事	※岡塚	田中	正和	男徹	(2520)	大船渡	西
常務理事	※田伊	東本	清仁	雄茂	(2810)	塩釜	
常務理事	※岡東	神井	堯	進董	(2530)	郡山	東
常務理事	※神井	守横	弘嘉	彦一	(2800)	山形	西
常務理事	※大加	久美	圭一	郎節	(2540)	湯沢	
常務理事	※松松	杉野	良五	喜一	(2830)	青森	北東
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2550)	西那須野	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2560)	新潟	潟
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2570)	東松山	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2770)	川口	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2580)	東京	神田
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2590)	横浜	中
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2780)	相模	原中
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2790)	柏	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2600)	長野	東
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2760)	半田	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2610)	小松	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2630)	岐阜	阜
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2640)	泉佐野	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2680)	加古川	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2670)	加徳	島
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2690)	倉敷	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2700)	大牟田	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2740)	佐世保	南
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2720)	熊本	
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2580)	東京	北
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2660)	大阪	東
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2710)	広島	島
常務理事	※松杉	杉野	良五	喜一	(2750)	東京	西

参考資料

☆ クラブ米山奨学金制度 (C Y)	1
☆ 地区米山奨学金制度 (D i s Y)	2
☆ 特別米山奨学金制度 (S Y - 1)	4
☆ 特別米山奨学金制度 (S Y - O B)	5
☆ 米山カレンダー	7
☆ 理事の役割	9
☆ 地区米山奨学委員長の役割	1 0
☆ 寄付金について	1 0
☆ 表彰制度	1 1
☆ 寄付に関する事項	1 3
☆ 送金カレンダー	1 4
☆ 地区活動費	1 6
☆ 専門委員会規定 1 9 9 5 年度専門委員	1 7
☆ 1 9 9 6 学年度奨学生募集要項 大学院生・学部生	
☆ 1 9 9 6 学年度地区米山奨学生 募集要項	

クラブ米山奨学金制度

(C Y 奨学金)

米山奨学金には、在籍大学の課程に従って種々の区別があり、同一人はただ一種類の奨学金しか受けることができません（本奨学金の非重複性）。しかし時には、博士号取得を目前に控え、奨学金を打ち切るには忍びないような学生がおります。その学生の世話クラブが、奨学金の半額を負担しても奨学したいと強く希望される場合、残りの半額を米山奨学会が負担し奨学する制度が、クラブ米山奨学金（C Y 奨学金）制度です。学生本人が強く希望したとしても、それだけでは申請することができません。

この奨学金をC Y 奨学金と名付けるのは、これを発動するのは世話クラブで、それを支援するのが米山奨学会であるからです。従ってC Y 奨学金の申請書は、クラブから依頼があった場合にお送りし、当会から申請の有無に関する照会はいたしません。

クラブ米山奨学生として申請を決定した時点で、本人にそれを伝え、もし本人が他の奨学金および研究助成金の申請をしていた場合は、申請を取り下げるようご指導下さい。

C Y 用特別寄付金は、クラブの特別寄付、又は個人名義の寄付として累積計上されます。

応募資格 現在奨学金を受給中の者で、奨学期間終了後1年以内に博士号取得見込みの者

申込受付期間 1996年3月1日～3月11日

1996年8月1日～8月15日

3月の受付は1996年3月に、8月の受付は1996年9月に、大学院博士（後期）課程3年、医・歯・獣医学系博士課程4年で奨学期間を終了する者に限る。

（申請書及びC Y 用特別寄付を送付）

採否の決定 常務理事会で決定

奨学期間 6カ月又は1年（申込みは年2度）

（Y 奨学期間とC Y 奨学期間は継続しなければならず、両期間を合算して最長3年まで）

奨 学 金 月額15万円

当会より世話クラブへ一括送金し、奨学生には1カ月毎に分割支給

待遇・責任 米山奨学生に準ずる

（発足：1981学年度）

地区米山奨学金制度

(DisY奨学金)

1996学年度

地区米山奨学金 (DisY奨学金) は、次の2種類とする。

1. DisY-A ロータリー所在国から来日し、1996年4月から日本の短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程に在籍する者。あるいは、1996年3月25日までに入学見込者。
2. DisY-B 以前にロータリークラブが存在していた国から修学または学術研究のため 在留資格「留学: College Student」で来日し、1996年4月から次の課程学年に在籍する者。あるいは、1996年3月25日までに入学見込者。
 - ・大学院修士課程1年目・2年目
 - ・大学院博士課程2・3年目
 - ・大学院医・歯・獣医学系博士課程3・4年目

この奨学生の最終確認および決定は常務理事会の審議を経る必要がある。

割当人数 DisY-A 該当者がいる場合は、各地区の割当数の枠内で1名採用することができる。該当者のいない場合、Y奨学生分とする。

DisY-B 各地区の当該年度奨学生割当数の15%以内とし、小数点以下は切上げ可。

なお、DisY-B継続者は、この15%の枠外とする。

(特例: Y奨学生が欠員して補欠がなく地区割当数に余分が生じたときに限り、その余剰分をその地区のDisY-Bの補欠者に、3名を限度として合格させることも可。ただし全国的にみてDisY-Bの割当枠15%を著しく越えるような結果を招くことは好ましくないので、最終決定は常務理事会に一任する。)

各地区割当数の中で採用する。

奨学期間 2年以内 (Y奨学生に準ずる)

奨学金 DisY-A 月額12万円

DisY-B 月額15万円

待遇・責任 Y奨学生に準ずる。

採用時期 各地区ガバナーは2月16日までに、地区担当理事と連名で
DisY奨学生採用候補者名を米山事務局に通知する。常務理事
会の審議の結果発表は、4月初旬までに行う。

応募資格

1. DisY-A 日本の短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程に在籍する者。あるいは、1996年3月25日までに入学見込者。
2. DisY-B 以前にロータリークラブが存在していた国からの留学生で、1996年4月から次の課程学年に在籍する者。
 - ・大学院修士課程1年目・2年目（1996年3月25日までに入学見込者）
 - ・大学院博士課程2・3年目
 - ・大学院医・歯・獣医学系博士課程3・4年目

* 以前にロータリークラブが存在していた国
アフガニスタン・アラブ首長国連邦・中華人民共和国・
キューバ・イラク・イラン・ラオス・リベリア・リビア
・ミャンマー（ビルマ）・シリア・ソマリア・ベトナム
・イエメン・旧ユーゴスラビア（セルビアを除く）

注 : DisY-A、DisY-Bともに地区内に所在する学校に限る。
その他の応募資格については、募集要項を参照のこと。

（発足：DisY-A 1984学年度、 DisY-B 1989学年度）

特別米山奨学金制度

(SY-1奨学金)

ロータリークラブのある（あるいは以前にロータリークラブが所在していた）発展途上国から来日する短期研修生で、日本国内における受入団体、指導者及び研修プログラム等が決まっており、短期間の研修後帰国し、母国の発展に寄与しうる者に対する奨学金。対象となる受入団体及び各団体への割当人数は、常務理事会及び理事会で定め、採用決定は常務理事会に於て行われる。

奨学金	月額 12万円 その他の補助費は正規奨学生と同額
奨学期間	1年以内
採用人数	15名程度
受入団体	アジア学院とPHD協会
待遇・責任	米山奨学生に準ずる

(発足：1987学年度)

特別米山奨学金制度

(SY(OB部門)奨学金)

第4期実施期間 : 1996年7月から3年間

日本で博士の学位を取得した50才未満の元米山奨学生(帰国後5年以上を経過した者)を対象とした、短期の日本再留学のための奨学金である。日本国内における研修プログラム、及び受入責任者・受入団体・研究室等がすでに決まっており、短期間の研修後帰国し、母国の発展に寄与しうる者に対して奨学する。

奨学金 月額 22万円

この奨学金は毎月世話クラブに送金し、クラブの例会で支給する。
来日が奨学開始月の20日を過ぎた場合は、奨学金の半額の11万円を支給する。

奨学期間 2カ月以上、6カ月以内

各年7月にはじまり、翌年6月迄の間で奨学期間を決める。
採用決定時に決まった奨学期間の変更は、原則として認めない。

採用人数 10名程度

応募期間 毎年2月1日～2月末日

審査 当会の学務委員会及び常務理事会において書類審査を行い、採否を決定する。

待遇 補助金：学会・研修・見学のための旅行補助として5万円を支給する。

その他、渡航費・医療補助費等は一切支給しない。

研究成果の報告

- 1 帰国にさいして、滞在中の報告書を、世話クラブを通して当会に提出すること。
- 2 母国就職機関に提出した報告書のコピー1部を、帰国後1カ月以内に当会へ提出すること。

(発足：1987年7月)

米山カレンダー

年 月 日 (曜)	各地区、ガバナー・理事・評議員・米山奨学委員会 実 施 事 項	米山奨学会、事務局実施事項
'95 年 7 月 20 日 (木) 迄に	ガバナーは理事と相談の上、次に関する 1996 学年度の地区の方針を決め、当会 に通知する。 DisY-A奨学金：採用の有無 (公募ではない) DisY-B奨学金：指定校の有無 ・指定校のない場合も、 募集要項および申込書 の送付先大学名 ・指定校を設ける場合の 大学名	
8 月 1 日 (火) ~ 8 月 15 日 (火)		CY奨学金申込受付('95年9月 奨学期間終了者)
8 月 7 日 (月) ~ 9 月 8 日 (金)		・YおよびDisY-B奨学金の募集 要項・申込書を大学と各地区 ガバナー事務所に送付。 (ただし、DisY-B奨学金の募集 要項・申込書は、非指定校に は送らない) 全ロータリークラブには募集 要項のみ送付
8 月 24 日 (木)		理事会・評議員会
9 月 1 日 (金)		地区米山奨学委員長会合
9 月下旬		全ロータリークラブに事業報告 書を送付 (5 部)
10 月 1 日 (日) ~ 31 日 (火)	米山月間	
10 月 2 日 (月) ~ 16 日 (月)		1996 学年度米山奨学金申込 受付 (10月16日消印有効)
10 月 17 日 (火) ~		申込書を地区別に分類する
11 月 24 日 (金) 迄に	地区担当理事は、ガバナーと協議の上、ガ バナーより選考委員を委嘱	申込書のコピーをガバナー事務 所に送付
11 月末日		1996 学年度選考試験補助費 送金 (ガバナー事務所宛)
12 月 5 日 (火)	選考委員名を当会に通知する 選考委員に応募者の申込書コピーを送付	大学・他奨学団体に申込者一覧 表送付
11 月 30 日 (木)	理事は理事会終了後、ガバナー・米山奨学 委員長と理事会決議事項に基づき選考方法 を打ち合わせ、米山奨学委員長と協力して ガバナー事務所の職員を指導する	理事会 ・各地区奨学生割当人数の決定 ・選考方法の打ち合わせ
12 月初旬	応募者多数の場合、学部生に日本語、日本 文の筆記試験を行う	
12 月 14 日 (木) ~ 12 月 19 日 (火)	YおよびDisY奨学生の資格審査・書類 審査結果ならびに面接の会場・日時を、た だちに当会に通知する	地区協議会に米山奨学部門を設 けて下さるようガバナーおよび ガバナーノミニーに依頼
'96 年 1 月 11 日 (木) 迄に	1. 書類審査の結果通知を応募者に発送 ・無資格者およびその推薦ロータリーに無資 格通知 ・第一次試験 (書類審査) 不合格および その推薦ロータリーに不合格通知 ・第一次試験合格者に、選考 (面接) 通知 2. 選考委員に試験の日時、場所を通知する	

年 月 日 (曜)	各地区、ガバナー・理事・評議員・米山 奨学委員会 実 施 事 項	米山奨学会、事務局実施事項
'96 年 1 月 25 日 (木) 迄に必着	歓送会に関する件につき、当会に通知する	
2 月初旬		地区協議会用の委員会資料 (1 クラブ 3 部) ガバナーノミニー 事務所に送付
2 月 1 日 (木) ~ 2 月 末 日		SY (0B 部門) 奨学金申込受付
2 月 4 日 (日) ~ 12 日 (月)	Y および Dis Y 奨学生の選考試験実施	
2 月 16 日 (金) 迄に必着	Y および Dis Y 合格者と補欠 (Y - 10 名 Dis Y - 5 名) を当会に通知	
2 月 16 日 (金) ~ 2 月 29 日 (木)		合格者の資格チェックおよび内 定・不合格通知発送。大学・他 奨学団体に当会合格内定者を知 らせる
2 月末 ~ 3 月中	奨学期間終了者の歓送会	
3 月 1 日 (金) ~ 11 日 (月)		C Y, S Y - 1 奨学金申込受付
3 月 13 日 頃		国費合格者と照合し、当会内定 者からはずす
3 月 15 日 頃		・ 常務理事会で合格者の決定 ・ 各地区ガバナー事務所と理事 に合格者を通知
3 月 29 日 (金) 迄に必着	オリエンテーション (開催日時、会場、書 類送付先等) と、4・5 月分奨学金の支給 方法を当会に通知	
4 月 5 日 (金) 迄に		合格通知発送 大学・他奨学団 体に当会奨学生を知らせる
4 月 19 日 (金) 迄に	下記事項を当会に通知 ・ 新規奨学生の世話クラブ	
4 月 26 日 (金) 迄に		世話クラブに依頼状送付 C Y 奨学金を世話クラブへ送金
5 月 7 日 (火) 迄に	世話クラブはカウンセラーを決定。当会並 びに地区米山理事に通知 オリエンテーション開催通知発送 ・ 新規奨学生とそのカウンセラー及び説明 者など	オリエンテーション用書類の発 送
5 月 15 日 (水) 迄に		カウンセラーへの委嘱状送付
5 月 16 日 (木) ~ 5 月 末 迄に	新規奨学生のオリエンテーション実施 4、5 月分の奨学金はオリエンテーション の時に支給。あるいはオリエンテーショ ン後、世話クラブで支給	4、5 月分奨学金 理事宛一括または、世話クラブ 宛送金
	地区協議会において米山事業の説明	
6 月初旬		世話クラブに送金 1996 学年度分 ・ 奨学生の学会・研修補助費 ・ 世話クラブおよびカウンセラ ーの活動補助費
6 月 10 日 (月) 迄に	前年度地区活動費の報告を当会に提出	
6 月 15 日 (土) 頃		理事宛に送金 ・ 1996 年度地区活動補助費
6 月 21 日 (金) 頃		理事会・評議員会

送金についての詳細は送金カレンダー参照

理事の役割

米山奨学会から各地区への連絡は、すべて理事宛とします。理事の方々には、地区ガバナー（当会評議員）の了解と地区米山奨学委員会の協力を得て、米山奨学生と世話クラブ、そして担当地区全体の米山に関する諸事項の指導をお願いします。

- * 募集事務：DisY奨学金についてガバナーとご相談のうえ、ガバナー事務所より米山奨学会へ以下の件を連絡するよう指導。
 - ・ DisY-A奨学生の採用予定の有無
 - ・ DisY-B奨学金の指定校の有無および送付先大学名と送付数。募集要項および申込書は、米山奨学会から各大学へ送付される。

- * 選考試験：選考委員の選定
選考方法の決定
選考試験の実施
奨学会への事務的連絡等

- * 米山奨学生とカウンセラーのオリエンテーションの徹底：
オリエンテーションは地区単位で実施していただく。
理事の方ご自身が“オリエンテーションの手びき”に基づいて米山の制度をよく説明していただき、奨学期間中、種々の問題が起こらないようにする。

- * カウンセラーの指導：
オリエンテーション以外にカウンセラーの会合をもち、当会からお送りする報告書等を参考に、地区内の奨学生の問題を話し合っていたいただきたい。

- * 広報：米山月間に限らず、米山奨学事業のPRをガバナー、評議員、米山奨学委員の協力のもとに励んでいただきたい。

- * 奨学生を中心とした懇親会の集い、歓送会、オリエンテーションの費用および地区委員会等の会合費用として次年度の為の地区活動費（奨学生1名あたり年額50,000円）が、毎年6月に地区担当理事宛に送金されます。
理事は地区委員会を指導して、この補助金をできるだけ年度内に有効に使用するように努め、年度末までにその使用報告書（領収書添付）を奨学会に提出して頂きます。

地区米山奨学委員長の役割

* 地区担当理事および地区ガバナーの補佐役として、次の諸事項にご協力いただきたい。

- ・ 米山奨学事業の P R
- ・ 寄 付 の 推 進
- ・ 奨学生選考試験
- ・ 米山月間に限らず、地区の米山に関する行事の実施
（オリエンテーション、歓送会、その他奨学生の集い、クラブ米山奨学委員長の会合等）
- ・ 米山奨学生報告書のコピーを送りますから目を通して、急ぎ対処しなければならないことがあれば、米山奨学会へ連絡するか、クラブのカウンセラー経由で奨学生を指導されたい。

寄 付 金 に つ い て

1 普通寄付金（振込用紙：茶色）

会員 1 人につき、年額千円以上の定額で寄付されます。年額の半額を 7 月 1 日、1 月 1 日現在の会員数に応じて、半期毎に送金されます。

2 特別寄付金（振込用紙：朱色）

個人、法人、またはクラブとして普通寄付以外に寄付されるものです。

送 金 先：さくら銀行京橋支店 （普）0920373
（財）ロータリー米山記念奨学会

※ 他クラブへの移籍について

従来、他のクラブへ移籍した場合、その時点の資格（功労者、準功労者等）と同時に、寄付額も移行していましたが、1986年度より資格の移行のみで、寄付額は旧クラブへ残すことになりました。

表 彰 制 度

1. 米山ファンドフェロー

個人の特別寄付の合計額が15万円に達した時、または一度に15万円もしくはそれ以上の特別寄付をされた時、米山ファンドフェローとして表彰し、メダルと略章が贈られます。

米山ファンドフェローの表彰は一回だけです。

2. 準米山功労者

個人として第一回分の寄付金3万円以上を納め、あと30万円に達するまで引き続き寄付する意思表示をされた方は、準米山功労者として登録されます。

準米山功労者の寄付金が15万円に達したとき、自動的に米山ファンドフェローとして表彰され、メダルと略章が贈られます。

3. 米山功労者

個人の特別寄付の合計額が30万円に達した時、または一度に30万円もしくはそれ以上の特別寄付をされた時、米山功労者としてメダルと略章が贈られ地区大会で表彰されます。

米山ファンドフェローの寄付が30万円に達したときも、同様に米山功労者となります。

米山功労者の表彰およびメダルと略章の贈呈は30万円ごとに何回でも行われます。

4. 米山功労クラブ

クラブの特別寄付金の合計額が100万円に達した時、米山功労クラブとしてメダルと楯が贈られ、地区大会で表彰されます。

クラブの特別寄付金額には、個人の特別寄付も集計されます。

表彰およびメダルと楯の贈呈は100万円ごとに何回でも行われます。

5. 米山功労者、米山功労クラブのメダルは従来銅メダル1種類でありましたが、

1991～92年度からは第1回目銅メダル、第2回目銀メダル、第3回目金メダル、第4回目以上梅花紋メダルとなります。

6. 準米山功労法人

法人として第1回分の寄付金5万円を納め、あと35万円に達するまで5万円単位で引き続き寄付をする意志表示をされた法人は、準米山功労法人として登録されます。

7. 米山功労法人

法人が所定の申込書により35万円の特別寄付をされた時、米山功労法人とし

て表彰状が贈られます。この場合、個人としての米山功労者の表彰はありません。

8. 米山特別功労法人

法人からの特別寄付累計額が105万円に達したとき、または1度に100万円もしくはそれ以上の特別寄付をされたときに、「米山特別功労法人」として表彰され、地区大会で表彰の楯が贈られます。表彰の楯の贈呈は、1度に100万円または35万円を3回で105万円に達したとき、何回でも行われます。

9. 1千万、2千万、3千万達成クラブ

普通寄付と特別寄付の合計額が、1,000万円、2,000万円または3,000万円に達したときは、それぞれ「1,000万円達成クラブ」「2,000万円達成クラブ」または「3,000万円達成クラブ」として、表彰状が贈られます。
以後、1,000万円増額達成ごとに同様に表彰されます。

寄付に関する事項

寄 付 に 関 す る 事 項		送 付 先
寄付金納入明細表 ・ 寄付金納入明細総合表 ・ 地区別寄付金納入明細表	四半期（９月・１２月・３月・６月）ごとに左記明細表を作成。 ・ 上記寄付金納入明細総合表と当該地区寄付金納入明細表を印刷の都合上１０月・２月・４月・８月頃に送付。 ・ 各クラブは上記明細表を保管し、その後の寄付額を管理していただきたい。	・ 全ロータリークラブ ・ ガバナー ・ 理事・監事・顧問・評議員 ・ 財務委員 ・ 地区米山奨学委員
月報（地区別、特別寄付報告書）	毎月左記報告書を作成し、送付。 ・ 各地区の地区米山奨学委員長は、四半期ごとに送付する寄付金納入明細表と月報を保管し、地区内クラブの寄付額等を管理していただき、地区内クラブの寄付状況を常に把握していただきたい。	・ ガバナー ・ 理 事 ・ 財務委員 ・ 地区米山奨学委員長
領 収 証 ・ 特別寄付金クラブ宛領収証 ・ 免税に関する領収証	・ 普通寄付の領収証は発行しない。 ・ 特別寄付については、クラブ宛個人明細を入れた領収証のみ発行する。 ・ 免税用の領収証は年間（１月１日～１２月３１日）の特別寄付合計額が３万円以上のものに対し発行する。 ・ 送付時期 翌年の２月初旬に送付。 法人用領収証は、指定期日迄に送付するが、特別指定のない場合には他の領収証と同様翌年の２月初旬に送付。	・ ロータリークラブ ・ 個人及び法人の領収証はいずれもクラブを通して送付

送 金 カ レ ン ダ ー

科 目	送 金 金 額	備 考	送金時期	送 金 先
奨 学 金	YMD (大学院生) 奨学金： 月額 150,000円 YU (学部生) 奨学金： 月額 120,000円 CY (クラブ米山) 奨学金： 月額 150,000円 DisY-A 奨学金： 月額 120,000円 DisY-B 奨学金： 月額 150,000円 SY-1 奨学金： 月額 120,000円 SY (OB部門) 奨学金： 月額 220,000円	前月の20日頃送金 半年分あるいは1年分を一括して送金 前月の20日頃送金	毎 月 5月初旬 毎 月	世話クラブ 世話クラブ 世話クラブ
研修旅行補助費	奨学生1名当り 年額 50,000円	奨学生の学会・研修・見学を目的とした旅行の補助 その他、補助金を活用して少しでも日本を知っていただく	6 月	世話クラブ
世 話 ク ラ ブ 活 動 補 助 費	奨学生1名当り 30,000円 (年 額)	奨学生の例会およびクラブ内の他の会合への出席費用の補助	6 月	世話クラブ
カ ウ ン セ ラ ー 活 動 補 助 費	奨学生1名当り 20,000円 (年 額)	奨学生との交際の補助費としてカウンセラーに (奨学生に渡してはならない)	6 月	世話クラブ

科 目	送 金 金 額	備 考	送金時期	送 金 先
地区活動補助費	奨学生1名当り 50,000円 (年額)	奨学生を中心とした懇親の集い、歓送会、オリエンテーション等の諸費用	6 月	地 区 担 当 理 事
選考試験補助費	選考事務補助費		11月末	ガバナー 事 務 所
地 区 協 議 会 補 助 費	米山部門 部屋代 } 実費 食事代 }	食事代はロータリーの例会昼食費程度	申 請 後	ガバナー 事 務 所
医 療 費 補 助	国民健康保健および日本国際教育会で支払われた残額を補助 (全体の6%)		申 請 後 翌 月	世話クラブ
学 友 会 補 助 費	○各学友会に年間20万円 ○学友会に出席する学友に若干の補助費 ○若干の会報補助費			各学友会宛

※ 費用の請求の際、振込銀行・口座番号・口座名を明記のこと。

地区活動費について

1. 奨学生 1 名につき、年額 5 万円を補助し、奨学生にとって意義ある活動に使っていただくことを目的とした補助金です。

使途目的（例）

- （１）奨学期間を修了した学生のための歓送会等費用
（会場費、飲食代等）
- （２）新しい奨学生のために行われるオリエンテーション等の費用（会場費、茶菓代等）
- （３）日頃勉学に追われている奨学生同志の親睦を兼ねた集い等の費用
- （４）日本を知ってもらう目的と親睦を兼ねた小旅行・見学費用等

以上のような奨学生、学友等の直接参加する行事、会合の経費補助としてこの活動費は使用していただきたい。但しこれらの会合等に参加されるロータリアンの費用等については地区の諸事情から多少支弁されても差し支えない。

2. 送金時期・送金先

奨学生の世話クラブが決定した時期を選んで毎年 6 月中頃に、理事宛口座に振り込む。

3. 収支報告書

年度内の活動に使用した収支報告を、毎年 6 月 10 日迄に収支決算報告書として、領収書等（コピー可）添付の上ご報告いただく。選考試験等の費用につきましてはこの活動費とは別に各地区ガバナー事務所へ 11 月頃送金いたしますので、選考試験等の費用には充当せず、活動のためだけに使用して、その報告をされたい。

財団法人ロータリー米山記念奨学会
専門委員会規定

第一条 財団法人ロータリー米山記念奨学会に次の四つの専門委員会を設置する。

各委員会は夫々の担当事項につき専門的に研究討議して、業務遂行の方策を定める。

財務委員会 資金運用及び予算・決算

学務委員会 奨学生の募集、選考、オリエンテーション、学生の世話、歓送会

広報委員会 募金及び内外広報

学友委員会 同窓会の組織

理事長は、必要に応じて各委員会の担当事項を変更又は追加する。

第二条 理事長は、副理事長又は常務理事のうちから各委員会担当理事を委嘱し、担当理事は委員会に出席して、その討議した内容を常務理事会に提案する。

第三条 委員会よりの提案については、常務理事会が採否を決定する。但し、理事長が特に重要と認めた事項は、理事会の承認を得る。

第四条 委員会は、次の通り構成する。

(1) 委員長 1名

(2) 委員 2名以上5名以内

理事長はロータリー会員のうちから委員を委嘱し、委員長は委員が互選する。委員長の任期は1年とする。

第五条 委員の任期は1年とする。但し、3期迄の再任は妨げない。

(1987年8月30日施行)

専門委員

(1995年9月1日～1996年8月31日)

(敬称略)

財 務	* 増田 房二, 山川久明, 藤沢徳三郎, 小笠原龍男
	北村吉弘, 濱野堅照, 若林卯太郎
学 務	* 高野孫左エ門, 渡辺厳一, 木村義民, 北村 博
	雨宮眞也, 浅香 正, 坂井 純
学 友	* 湯原竹之助, 濱野堅照, 伊藤昭治, 尾藤昌平
	戸田 孝, 喜多村禎勇, 梶原景親
広 報	* 増田 房二, 深沢豊吉, 伊東清雄, 高野孫左エ門
	大石益光, 本田 茂, 種田憲次

* 印 各委員会担当理事

財団法人ロータリー米山記念奨学会
1996 (平成8) 年度米山奨学生募集要項

I 応募資格

1. 国籍とビザ

日本以外の国籍を有し、ロータリークラブの所在する国、または地域から来日し勉学または研究のため在留資格「**留学**: College Student」で在日している者および来日予定の者。

応募者の親・配偶者が日本国籍を有する場合、または応募者の親・配偶者が在日しており定収入がある場合は、応募資格がない。

2. 在籍大学

1996年4月から日本の国内に所在する大学院:

入学時から起算して修士課程1年目、2年目

〃 博士課程2年目、3年目

〃 医・歯・獣医学系博士課程3年目、4年目

(Ⅱ. 1. 奨学金の欄を参照)

} 在籍者

3. 性格・能力・健康

優秀な学力を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者。

4. 博士号

博士の学位を取得していない者。

5. 年 齢

1956年4月1日以降に生れた者(40歳未満の者)。

6. 他の機関の奨学金との併給

当会からの奨学金は、他の機関からの奨学金と同時に受けることはできない。他の機関にも奨学金を申込み、結果として当会および他の機関からの奨学金の支給の内定(合格)を受けた場合は、支給の決定を1つの奨学金に絞り、どちらを受けるかを当会に通知する。この指示に従わず、他の機関からの奨学金と同時に当会の奨学金を受けた場合は、支給された奨学金(重複期間)の金額を返済しなければならない。なお、現在受給中の他の機関からの奨学金(法人、または団体からの奨学金および個人に与えられる研究助成金等)の受給が1996年3月で終わる者は、当会の奨学金に応募することができる。

7. 本奨学金の非重複性

かつて米山奨学金を受領したことのある者は、応募資格がない。

当会の奨学金は、毎月世話ロータリークラブの例会において手渡される。本人の銀行口座への振込は行わない。

Ⅱ 奨学金と補助金

1. 奨学金

YMD (大学院) 奨学金 (Yoneyama Master and Doctor Course Scholarship)

対象者 : 1996年4月から大学院修士課程1年目、2年目に在籍する者、および大学院博士課程2年目、3年目に在籍する者と医・歯・獣医学系博士課程3年目、4年目に在籍する者。
(この学年は入学時から起算した学年である)

応募資格のない人 :

- ・ 1996年4月から博士課程1年目
- 〃 医・歯・獣医学系博士課程1年目、2年目 } 在籍者
(この学年は入学時から起算した学年である)
- ・ 入学時から起算して、博士課程の4年目に入る者、医・歯・獣医学系博士課程の5年目に入る者。

募集範囲 : 全国適用

奨学金 : 月額15万円

奨学期間 : 2年を限度とし課程終了までの2年間は継続支給する。
ただし修士課程2年目、博士課程3年目、医・歯・獣医学系博士課程4年目で採用された者に対する支給は1年間。

2. 補助金

- (A) 学会・研修・見学のための研修旅行補助費 : 年5万円
- (B) 医療費補助 (当会の規定による)

Ⅲ 応募に必要な提出書類と手続

1. 申込書 大学院生 : 水色 (所定用紙に本人が自筆で完全に記入したもの)
2. 居住地の市区町村役所で発行される、本人および在日家族全員の外国人登録済証明書
本人 (国籍、在留資格 : 留学、および在留期間明記の証明書、在留期間が1995年9月30日以前に切れているものは無効) 家族 (国籍、在留資格明記の証明書)
3. 在学証明書 (入学年月日記入のもの)
4. 修士課程進学予定の者は、修士課程合格通知の写し (申込みの時点で入手不可能な場合は、その理由を書きそえ、入手次第、遅くとも**3月25日までに書留で送付すること**。)
申込書に本人が記入した修士課程に不合格になった者は、ただちに当会へ連絡すること。
5. 学業成績表 a. 母国における最終校の成績表
b. 現課程の成績表 (入手不可能な場合は、その理由を明記) } 両方を提出すること。
コピー可。
6. 指導教官の推薦状 (所定用紙を使用のこと。親展書)
7. 6カ月以内の健康診断書。ただし、レントゲン所見は1年以内のものまで可。(所定用紙使用のこと。)
8. 写真2枚 (6カ月以内に撮影のもの。上半身正面像5cm×3.5cm。カラー写真を使用しないこと。) 1枚は所定の場所に貼付し、あとの1枚は裏に撮影年月日と氏名を記入の上、写真に傷がつかないように同封する。

9. 研究計画書または研究状況報告書
大学院での研究予定または現在までの研究状況について800字以内、日本語で黒インクまたは黒のボールペンを使用した自筆のものに限る。(ワープロは不可)
所定原稿用紙を使用のこと。
10. 応募者の現住所を宛名書きした定型封筒(23.5cm×12cm)3枚。(切手不要。これは面接通知と可否通知に使用する。住所に移動があった場合には、新住所を当会宛すみやかに通知すること)
11. 前記1～10に記載した申込書および添付書類(その他 推薦者よりの推薦状を添付してもよい)を一括して応募者本人が10月16日(消印可)までに、当会に持参するか、または書留郵便で送付すること。
締切り以後の書類の追加または変更を認めない。

Ⅳ 選考

1. 書類選考 第一次選考として書類上の審査を行う。(提出書類に不足があったり、未記入箇所のあるときおよび書類の記入について奨学会の要請を満たさないときは、減点あるいは選考の対象から除外される。)
2. 面接 第一次選考の合格者に対し面接を行う。原則として、1996年2月4日～12日の間に実施する。
その期日・場所は各地区で指定し、1月10日頃までに各応募者に通知する。
3. 受験場所 原則として在籍大学所在地区または進学希望大学所在地区で選考を行う。ただし、大学所在地区以外の地区にあるロータリー会員の推薦で申込みがあった場合の受験場所は、当会で指定する。
4. 選考の結果 1) 合格内定通知および不合格通知は2月下旬に応募者各人に書面で通知する。合格が内定した者は、当奨学金の受給希望の有無につき、当会に回答する。(3月15日消印まで有効)
2) 正式合格発表は4月6日までに応募者各人に書面で通知する。可否に関する問い合わせには、一切答えない。

Ⅴ 申込受付の場所と期間

応募者は、Ⅲの提出書類を全部とりそろえ、申込書受付期間内に、下記に持参するか、または書留郵便にて送付のこと。

1. 申込書受付場所：〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階
財団法人 ロータリー米山記念奨学会
2. 申込書受付期間：1995年10月2日～同10月16日
(郵送の場合は、10月16日の消印のある分まで受理する。その後はいかなる書類も受付けない。)
事務所執務時間：月曜日～金曜日 9:00～16:00
3. 募集についての問い合わせ：電話(03)3435-1828
ロータリー米山記念奨学会事務所
月曜日～金曜日 9:00～16:00

提出書類は、一切返却しない。

財団法人ロータリー米山記念奨学会
1996(平成8)年度米山奨学生募集要項

I 応募資格

1. 国籍とビザ

日本以外の国籍を有し、ロータリークラブの所在する国、または地域から来日し勉学または研究のため在留資格「**留学**: College Student」で在日している者および来日予定の者。

応募者の親・配偶者が日本国籍を有する場合、または応募者の親・配偶者が在日しており定収入がある場合は、応募資格がない。

2. 在籍大学

1996年4月から日本の国内に所在する大学:

入学時から起算して学部3年目、4年目

〃 医・歯・獣医学部5年目、6年目

地域により国籍制限あり。(Ⅱ. 1. 奨学金の欄を参照)

} 在籍者

3. 性格・能力・健康

優秀な学力を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者。

4. 博士号

博士の学位を取得していない者。

5. 年 齢

1956年4月1日以降に生れた者(40歳未満の者)。

6. 他の機関の奨学金との併給

当会からの奨学金は、他の機関からの奨学金と同時に受けることはできない。他の機関にも奨学金を申込み、結果として当会および他の機関からの奨学金の支給の内定(合格)を受けた場合は、支給の決定を1つの奨学金に絞り、どちらを受けるかを当会に通知する。この指示に従わず、他の機関からの奨学金と同時に当会の奨学金を受けた場合は、支給された奨学金(重複期間)の金額を返済しなければならない。なお、現在受給中の他の機関からの奨学金(法人、または団体からの奨学金および個人に与えられる研究助成金等)の受給が1996年3月で終わる者は、当会の奨学金に応募することができる。

7. 本奨学金の非重複性

かつて米山奨学金を受領したことのある者は、応募資格がない。

当会の奨学金は、毎月世話ロータリークラブの例会において手渡される。本人の銀行口座への振込は行わない。

Ⅱ 奨学金と補助金

1. 奨学金

YU (学部) 奨学金 (Yoneyama Undergraduate Course Scholarship)

対象者 : 1. 1996年4月から学部3年目、4年目に在籍する者。
2. 1996年4月から医・歯・獣医学部5年目、6年目に在籍する者。
(この学年は入学時から起算した学年である)

応募資格のない人:

・ 1996年4月から学部1年目、2年目
" 医・歯・獣医学部1年目、2年目
" 医・歯・獣医学部3年目、4年目 } 在籍者
(この学年は入学時から起算した学年である)
・ 入学時から起算して学部5年目に入る者、医・歯・獣医学部7年目に入る者。

募集範囲: 全国適用

ただし、大韓民国および中華民国(台湾)国籍の者は、その大学の所在地が茨城県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大和川以北の大阪府、兵庫県、福岡県の場合適用しない。

奨学金 : 月額12万円

奨学期間: 学部3年目、医・歯・獣医学部5年目で採用された者は、学部卒業までの2年間は継続支給する。
学部4年目、あるいは医・歯・獣医学部6年目で採用された者は1年間。

2. 補助金

(A) 学会・研修・見学のための研修旅行補助費: 年5万円
(B) 医療費補助(当会の規定による)

Ⅲ 応募に必要な提出書類と手続

1. 申込書 学部生: 黄色(所定用紙に本人が自筆で完全に記入したもの)
2. 居住地の市区町村役所で発行される、本人および在日家族全員の外国人登録済証明書
本人(国籍、在留資格: 留学、および在留期間明記の証明書、在留期間が1995年9月30日以前に切れているものは無効) 家族(国籍、在留資格明記の証明書)
3. 在学証明書(入学年月日記入のもの)
4. 学部課程3年または4年に編入学予定者は、編入学合格通知の写し(申込みの時点で入手不可能な場合は、その理由を書きそえ、入手次第、遅くとも**3月25日までに書留**で送付すること。) 申込書に本人が記入した学部課程に不合格になった者は、ただちに当会へ連絡すること。
5. 学業成績表 a. 母国における最終校の成績表
b. 現課程の成績表(入手不可能な場合は、その理由を明記) } 両方を提出すること
コピー可。
6. 指導教官の推薦状(所定用紙を使用のこと。親展書)
7. 6カ月以内の健康診断書。ただし、レントゲン所見は1年以内のものまで可。(所定用紙使用のこと。)
8. 写真2枚(6カ月以内に撮影のもの。上半身正面像5cm×3.5cm。カラー写真を使用しないこと。) 1枚は所定の場所に貼付し、あとの1枚は裏に撮影年月日と氏名を記入の上、写真に

傷がつかないように同封する。

9. 履修状況

日本の大学での履修状況と卒業後の進路について800字以内、日本語で黒インクまたは黒のボールペンを使用した自筆のものに限る。(ワープロは不可)
所定原稿用紙を使用のこと。

10. 応募者の現住所を宛名書きした定型封筒(23.5cm×12cm)3枚。(切手不要。これは面接通知と合否通知に使用する。住所に移動があった場合には、新住所を当会宛すみやかに通知すること。)

11. 前記1～10に記載した申込書および添付書類(その他推薦者よりの推薦状を添付してもよい)を一括して応募者本人が10月16日(消印可)までに、当会に持参するか、または書留郵便で送付すること。
締切り以後の書類の追加または変更を認めない。

Ⅳ 選 考

1. 書類選考 第一次選考として書類上の審査を行う。(提出書類に不足があったり、未記入箇所のあるときおよび書類の記入について奨学会の要請を満たさないときは、減点あるいは選考の対象から除外される。)
ただし、応募者多数の場合は、日本語・日本文の理解力についての筆記試験を行うことがある。(12月初旬の予定)
2. 面 接 第一次選考の合格者に対し面接を行う。原則として、1996年2月4日～12日の間に実施する。
その期日・場所は各地区で指定し、1月10日頃までに各応募者に通知する。
3. 受験場所 原則として在籍大学所在地区または進学希望大学所在地区で、選考を行う。
ただし、大学所在地区以外の地区にあるロータリー会員の推薦で申込みがあった場合の受験場所は、当会で指定する。
4. 選考の結果 1) 合格内定通知および不合格通知は2月下旬に応募者各人に書面で通知する。
合格が内定した者は、当奨学金の受給希望の有無につき、当会に回答する。
(3月15日消印まで有効)
2) 正式合格発表は4月6日までに応募者各人に書面で通知する。合否に関する問い合わせには、一切答えない。

Ⅴ 申込受付の場所と期間

応募者は、Ⅲの提出書類を全部とりそろえ、申込書受付期間内に、下記に持参するか、または書留郵便にて送付のこと。

1. 申込書受付場所：〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階
財団法人 ロータリー米山記念奨学会
2. 申込書受付期間：1995年10月2日～同10月16日
(郵送の場合は、10月16日の消印のある分まで受理する。その後はいかなる書類も受付けない。)
事務所執務時間：月曜日～金曜日 9:00～16:00
3. 募集についての問い合わせ：電話(03)3435-1828
ロータリー米山記念奨学会事務所
月曜日～金曜日 9:00～16:00

提出書類は、一切返却しない。

財団法人ロータリー米山記念奨学会
1996 (平成8) 年度 地区米山奨学生 (DisY) 募集要項

I 応募資格

1. 国籍とビザ

日本以外の国籍を有し、勉学または研究のために在留資格「**留学**: College Student」で在日している者および来日予定の者。

(イ) DisY-A: ロータリークラブの所在する国または地域からの留学生。

(ロ) DisY-B: 以前にロータリークラブが所在していた国からの留学生。

注: 以前にロータリークラブが存在していた国

アフガニスタン、アラブ首長国連邦、中華人民共和国、キューバ、

イラク、イラン、ラオス、リベリア、リビア、ミャンマー (ビルマ)、

シリア、ソマリア、ベトナム、イエメン、旧ユーゴスラビア (セルビ

アを除く)

応募者の親・配偶者が日本国籍を有する場合、または応募者の親・配偶者が在日しており定収入がある場合は、応募資格がない。

2. 母国における教育

母国で高等学校卒業以上の学歴を有する者。

3. 在籍学校・大学

(イ) DisY-A: 1996年4月から日本の国内に所在する短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程に在籍する者。

(ロ) DisY-B: 1996年4月から日本の国内に所在する大学院:

入学時から起算して修士課程1年目、2年目

〃 博士課程2年目、3年目

〃 医・歯・獣医学系博士課程3年目、4年目

(Ⅱ. 1. (ロ) 奨学金の欄を参照)

} 在籍者

4. 性格・能力・健康

優秀な学力を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者。

5. 博士号

博士の学位を取得していない者。

6. 年 齢

1956年4月1日以降に生れた者 (40歳未満の者)。

7. 他の機関の奨学金との併給

当会からの奨学金は、他の機関からの奨学金と同時に受けることはできない。他の機関にも奨学金を申込み、結果として当会および他の機関からの奨学金の支給の内定 (合格) を受けた場合は、支給の決定を一つの奨学金に絞り、どちらを受けるかを当会に通知する。この指示に従わず、他の機関からの奨学金と同時に当会の奨学金を受けた場合は、支給された奨学金 (重複期間) の金額を返済しなければならない。なお、現在受給中の他の機関からの奨学

金（法人、または団体からの奨学金および個人に与えられる研究助成金等）の受給が1996年3月で終わる者は、当会の奨学金に応募することができる。

8. 本奨学金の非重複性

かつて米山奨学金を受領したことのある者は、応募資格がない。

Ⅱ 奨学金と補助金

1. 奨学金

(イ) DisY-A (District Yoneyama Scholarship A)

対象者 : ロータリークラブの所在する国、または地域から来日し、1996年4月から日本の短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程に在籍する者。

募集範囲 : 全国適用

奨学金 : 月額12万円

奨学期間 : 2年を限度とする。

(ロ) DisY-B (District Yoneyama Scholarship B)

対象者 : 以前にロータリークラブが存在していた国から来日し、1996年4月から大学院修士課程1年目、2年目に在籍する者、および大学院博士課程2年目、3年目に在籍する者と医・歯・獣医学系博士課程3年目、4年目に在籍する者。
(この学年は入学時から起算した学年である)

応募資格のない人 :

- ・ 1996年4月から博士課程1年目
 - 〃 医・歯・獣医学系博士課程1年目、2年目 } 在籍者
- (この学年は入学時から起算した学年である)
- ・ 入学時から起算して、博士課程の4年目に入る者、医・歯・獣医学系博士課程の5年目に入る者。

募集範囲 : 全国適用。ただし、地区により大学を指定する。

奨学金 : 月額15万円

奨学期間 : 2年を限度とし課程終了までの2年間は継続支給する。
ただし修士課程2年目、博士課程3年目、医・歯・獣医学系博士課程4年目で採用された者に対する支給は1年間。

2. 補助金

- (A) 学会・研修・見学のための研修旅行補助費 : 年5万円
- (B) 医療費補助 (当会の規定による)

Ⅲ 応募に必要な提出書類と手続

- 1. 申込書 : ピンク色 (所定用紙に完全に本人が自筆で記入したもの)

2. 居住地の市区町村役所で発行される、本人および在日家族全員の外国人登録済証明書
本人（国籍、在留資格：留学、および在留期間明記の証明書、在留期間が1995年9月30日以前に切れているものは無効） 家族（国籍、在留資格明記の証明書）
3. 在学証明書（入学年月日記入のもの）
4. 短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程・修士課程進学予定の者は、該当の課程合格通知の写し（申込みの時点で入手不可能な場合は、その理由を書きそえ、入手次第、遅くとも**3月25日までに書留で**送付すること。）
申込書に本人が記入した該当の課程に不合格になった者は、ただちに当会へ連絡すること。
5. 学業成績表
 - a. 母国における最終校の成績表
 - b. 現課程の成績表（入手不可能な場合は、その理由を明記）
 } 両方を提出すること。
} コピー可。
6. 指導教官の推薦状（所定用紙を使用のこと。親展書）
7. 6カ月以内の健康診断書。ただし、レントゲン所見は1年以内のものまで可。（所定用紙使用のこと。）
8. 写真2枚（6カ月以内に撮影のもの。上半身正面像5cm×3.5cm。カラー写真を使用しないこと。）1枚は所定の場所に貼付し、あとの1枚は裏に撮影年月日と氏名を記入の上、写真に傷がつかないように同封する。
9. 研究計画書または研究状況報告書（ただし、DisY-A奨学金応募者は不要）
大学院での研究または現在までの研究状況について800字以内、日本語で黒インクまたは黒のボールペンを使用した自筆のものに限る。（ワープロは不可）
所定原稿用紙を使用のこと。
10. 応募者の現住所を宛名書きした定型封筒（23.5cm×12cm）3枚。（切手不要。これは面接通知と合否通知に使用する。住所に移動があった場合には、新住所を当会宛すみやかに通知すること）
11. 前記1～10に記載した申込書および添付書類（その他 推薦者の推薦状を添付してもよい）を一括して応募者本人が10月16日（消印可）までに、当会に持参するか、または**書留郵便**で送付すること。
締切り以後の書類の追加または変更を認めない。

Ⅳ 選 考

1. 書類選考 第一次選考として書類上の審査を行う。（**提出書類に不足があったり、未記入箇所のあるときおよび書類の記入について奨学会の要請を満たさないときは、減点あるいは選考の対象から除外される。**）
2. 面 接 第一次選考の合格者に対し面接を行う。原則として、1996年2月4日～12日の間に実施する。
その期日・場所は各地区で指定し、1月10日頃までに各応募者に通知する。
3. 受験場所 在籍学校所在地区または進学希望学校所在地区で選考を行う。
4. 選考の結果
 - 1) 合格内定通知および不合格通知は2月下旬に応募者各人に書面で通知する。
合格が内定した者は、当奨学金の受給希望の有無につき、当会に回答する。
（3月15日消印まで有効）
 - 2) 正式合格発表は4月6日までに応募者各人に書面で通知する。合否に関する

問い合わせには、一切答えない。

V 申込受付の場所と期間

応募者は、Ⅲの提出書類を全部とりそろえ、申込書受付期間内に、下記に持参するか、または書留郵便にて送付のこと。

1. 申込書受付場所：〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階
財団法人 ロータリー米山記念奨学会
2. 申込書受付期間：1995年10月2日～同10月16日
(郵送の場合は、10月16日の消印のある分まで受理する。その後はいかなる書類も受付けない。)
事務所執務時間：月曜日～金曜日 9:00～16:00
3. 募集についての問い合わせ：電話(03)3435-1828
ロータリー米山記念奨学会事務所
月曜日～金曜日 9:00～16:00

提出書類は、一切返却しない。

当会の奨学金は、毎月世話ロータリークラブの例会において手渡される。本人の銀行口座への振込みは行わない。

財団法人ロータリー米山記念奨学会

東京都港区芝公園2丁目6番3号 abc会館ビル

電話 (03)3434-8681

Fax (03)3578-8291